FUJIFILM

DIGITAL CAMERA

FinePix 50i

使用説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書には、フジフイルムデジタルカメラファインピックス50iの
使い方がまとめられています。内容をご理解の上、正しくご使用ください。

BL00041-100 (1)

目　次

5 オーディオ編

6 リモコン応用編

7 設定編

はじめに

▶ご使用の前に必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みください。

■撮影の前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

＊本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカード（スマートメディア）の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分に注意してください。万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- **皮膚に付着した場合：**
  付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- **目に入った場合：**
  きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- **飲み込んだ場合：**
  水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の手当を受けてください。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- 本製品はクラスB情報技術装置（住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置）で、住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しています。
  しかし本製品をラジオ、テレビジョン受信機に近づけてお使いになると、受信障害の原因となることがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。
  使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因となることがあります。

■製品の取り扱いについて

本製品は、精密な電子部品で構成されておりますので、画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■商標について

- iMac、Macintoshは、Apple Computer, Inc.の商標です。
- Windowsは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- SmartMediaは株式会社 東芝の商標です。
- その他の社名と商品名は各社の商標または登録商標です。

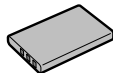
カメラの特長 / 付属品

カメラの特長

- 音楽プレーヤー機能
- 小型軽量アルミニウム・マグネシウム合金ボディ
- 短い起動時間、撮影間隔で軽快な操作感
- 新開発スーパーCCDハニカム搭載(総画素数：ハニカム配列の約240万画素)搭載により、記録画素数約432万画素の高画質
- 高感度ISO 125と内蔵オートストロボにより撮影領域を拡大
- なめらかな(多段階)デジタルズーム機能(メガピクセル時約1.88倍)/再生ズーム機能(最大15倍)
- スーパーEBCフジノンレンズ使用
- マクロ撮影機能付きオートフォーカス
- 撮影条件の設定が可能なマニュアル撮影モード
- 最大画素数でも可能な連写機能
- バランスの良い構図での撮影ができるベストフレーミング機能
- 動画撮影可能(320×240ピクセル、音声付き)
- 撮影情報の記録に便利なボイスメモ機能
- 音声記録ができるボイスレコーディング機能
- 1.5型11万画素 低温ポリシリコンTFT液晶モニター
- クレードルにセットするだけで簡単に充電、テレビ接続が可能。簡単高速にパソコンへ画像ファイル転送が可能(USBインターフェースセット付属)。
- 簡単プリントを実現するDPOF(Digital Print Order Format)対応
- デジタルカメラの業界統一規格DCF*準拠

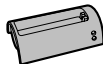
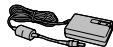
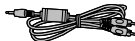
＊DCFは電子情報技術産業協会(JEITA)で制定された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

付属品

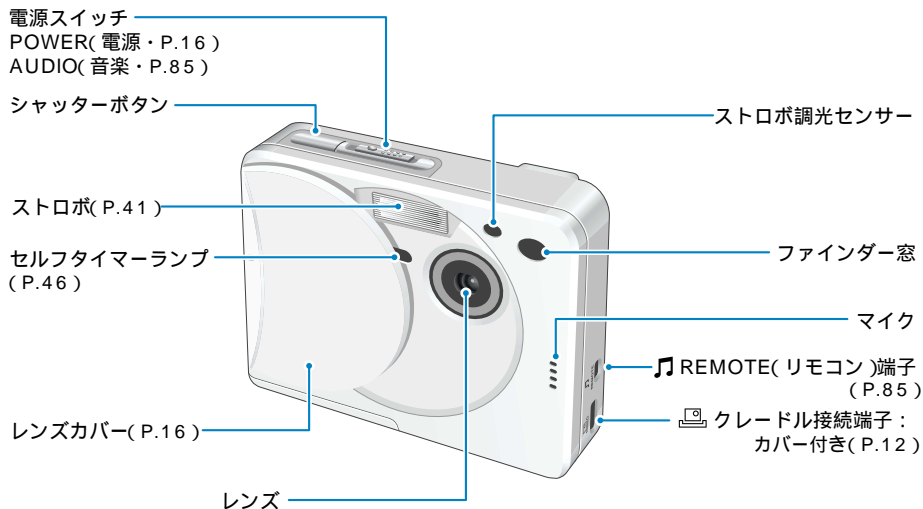
- **充電式バッテリー NP-60**
  容量900mAh(1個)
  ソフトケース付き

- **ショルダーストラップ(1本)**

- **リモコン(1個)**

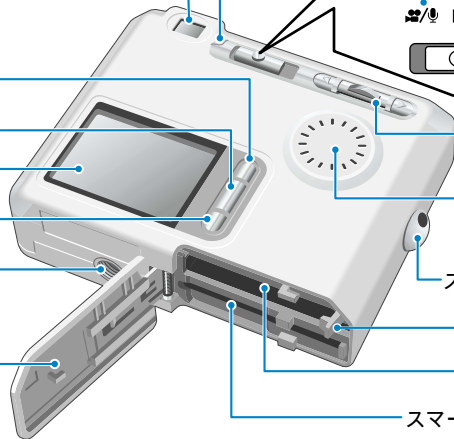
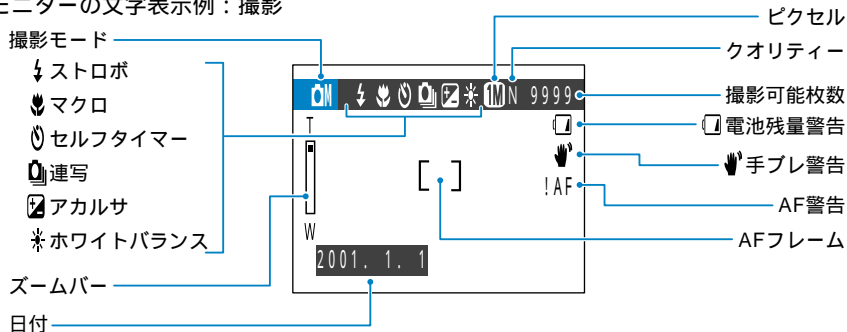
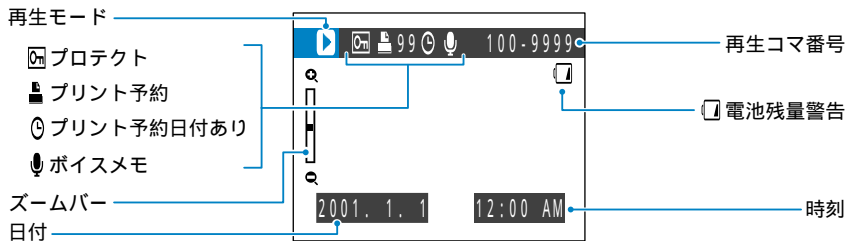
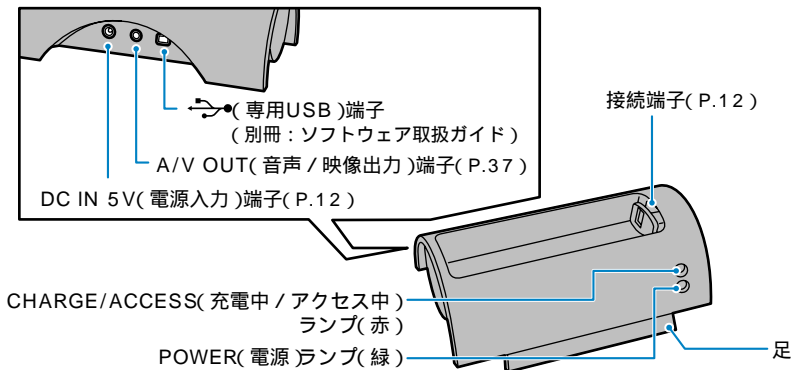
- **ヘッドホン(1個)**

- **クレードル(ピクチャー・クレードル)(1台)**

- **ACパワーアダプター AC-5VS**
  接続コード：約2m(1台)

- **A/Vケーブル**
  φ2.5mmミニミニプラグ×ピンプラグ：約1.5m(1本)

- **USBインターフェースセット(1式)**
  ・CD-ROM：Software for FinePix MP(1枚)
  ・専用USBケーブル(1本)
  ・ソフトウェア取扱ガイド(1部)
- **使用説明書(本書1部)**
- **安全上のご注意(1部)**
- **保証書(1部)**

各部の名称

＊(　)内のページに詳しい説明があります。

ファインダーランプ(P.24)
ファインダー(P.22)
キャンセルボタン
メニュー／OKボタン
液晶モニター
表示ボタン
(P.21、29、30)
三脚用ねじ穴
バッテリーカバー
(P.11、14、15)
【モードスイッチ】
動画／音声モード(P.53、56)
再生モード(P.30)
静止画モード
(P.21)
▲▼ 上下レバー
◀▶ 左右ボタン
スピーカー(P.99)
ストラップ取り付け部(P.10)
バッテリー取り外しつまみ
バッテリー挿入部(P.11)
スマートメディアスロット(P.14)

各部の名称

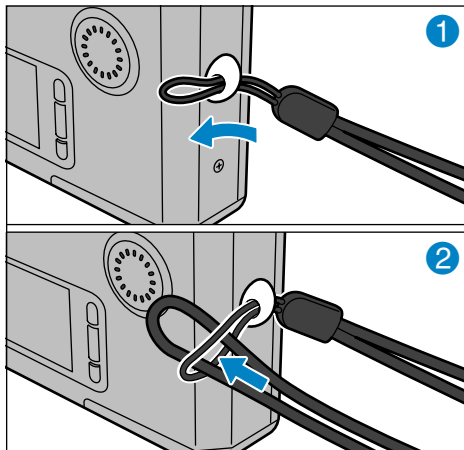
液晶モニターの文字表示例：撮影
撮影モード
ストロボ
マクロ
セルフタイマー
連写
アカルサ
ホワイトバランス
ズームバー
日付
ピクセル
クオリティー
撮影可能枚数
電池残量警告
手ブレ警告
AF警告
AFフレーム
1M
N 9999
T
W
!AF
2001. 1. 1
液晶モニターの文字表示例：再生
再生モード
プロテクト
プリント予約
プリント予約日付あり
ボイスメモ
ズームバー
日付
再生コマ番号
電池残量警告
時刻
99
100-9999
2001. 1. 1
12:00 AM

クレードル

◆クレードルについて◆

クレードルを使用すると次のようなときに便利です。

- カメラを使用しないときにセットしておけばバッテリーの充電ができます (➡12ページ)。
- テレビで画像を見ることができます (➡37ページ)。
- USBインターフェース接続でパソコンと高速なファイル転送ができます (カードリーダー機能 ➡ 別冊：ソフトウェア取扱ガイド)。
- インターネットを経由したテレビ電話ができます (PCカメラ機能 ➡ 別冊：ソフトウェア取扱ガイド)。

! ACパワーアダプター、A/Vケーブル、専用USBケーブルの接続が必要です。

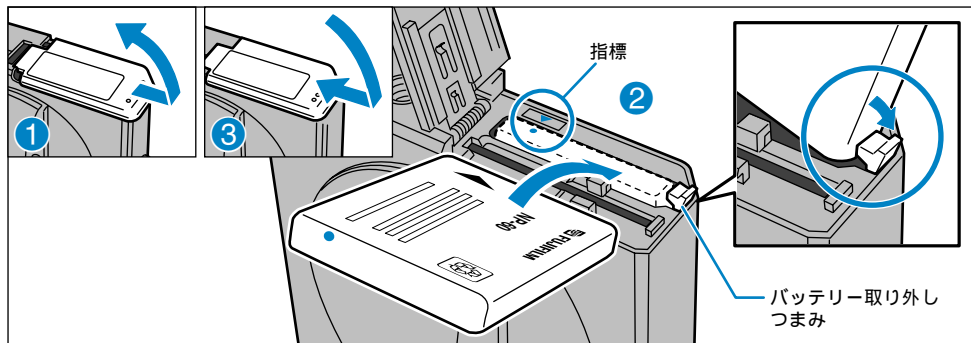
ショルダーストラップを取り付けます

❶ストラップの小さい方の輪を、ストラップ取り付け部に通します。
❷次に大きい方の輪の端を、小さい方の輪の中に通して引っ張ります。

バッテリーを入れます

使用するバッテリー

充電式バッテリー NP-60　1個

- 工場出荷時にバッテリーはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
- バッテリーにラベルなどをはらないでください。取り出せなくなることがあります。
- バッテリーについてのご注意は107、108ページをご参照ください。

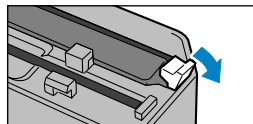
指標

バッテリー取り外しつまみ

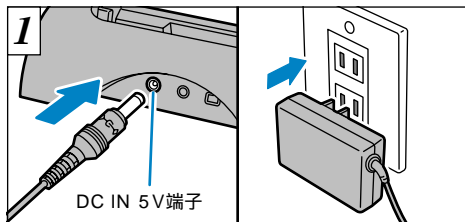
❶バッテリーカバーをスライドさせて開けます。
❷指標を向き合うようにし、取り外しつまみを押しのけるようにバッテリーを入れます。
❸バッテリーがロックされたことを確認し、バッテリーカバーを閉めます。

! 電池を入れるとファインダーランプが一瞬点滅し、レンズ駆動音がしますが異常ではありません。

! バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。

◆バッテリーを取り出すには◆

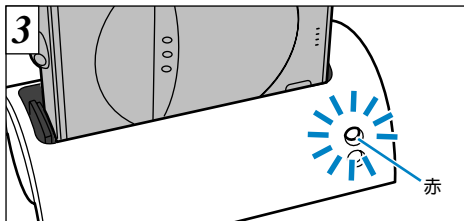
バッテリーカバーを開け、バッテリー取り外しつまみを動かしてロックを外してください。

! バッテリーを交換するときは必ず電源を切ってください。

バッテリーを充電します（クレードル使用）

クレードルにACパワーアダプターAC-5Vを接続し、コンセントに差し込みます。

●使用可能なACパワーアダプター
付属品　　　：AC-5VS（推奨）
弊社製互換品：AC-5VH、AC-5VN、AC-5V

①カメラ側面の接続端子カバーを外します。
②カメラの電源は必ずOFFにしてクレードルにカメラを載せ、カチッと音がするまでスライドさせて接続します。

! 必ず上記の弊社製品をご使用ください。
! 使用説明書では「ACパワーアダプター AC-5V」と表記しています。
! AC-5VS、AC-5VH、AC-5VNは海外でも使用できます（➡109ページ）。

! 接続端子カバーは紛失しないように注意してください。
! クレードル接続端子にしっかりと差し込みます。

クレードルのCHARGE/ACCESS（充電/アクセス）ランプが赤色に点灯し、バッテリーの充電が開始されます。完了するとCHARGE/ACCESSランプが消灯します。
使いきったバッテリーは最大約5時間でフル充電されます。

クレードルからカメラを取り外すには、スライドさせて取り外します。

- 低温時は充電時間が長くなることがあります。
- 充電時にCHARGE/ACCESSランプが点滅したときは、充電異常のため充電できません。その場合は119ページを参照してください。
- クレードルのPOWERランプ［緑］が点灯しているときは、カメラの電源を切ってから取り外してください。
- 別売のバッテリーチャージャー BC-60を使用すると充電時間を短縮できます（➡104ページ）。

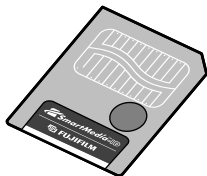
- 充電中に電源を入れると充電が中断されます。

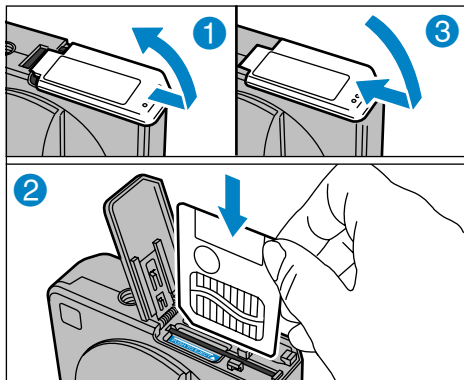
ほこりによる接触不良を防ぐため、クレードルから外して使用するときは必ず接続端子カバーを取り付けてください。

スマートメディア™を入れます

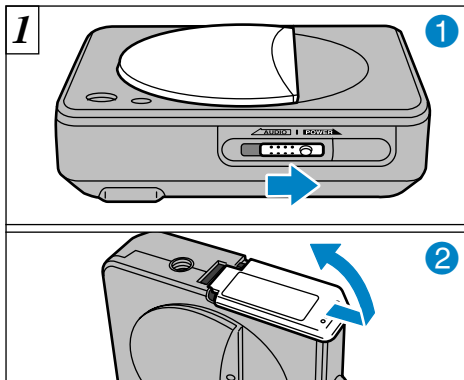
スマートメディア™（別売）

スマートメディアは必ず3.3V仕様をお使いください。

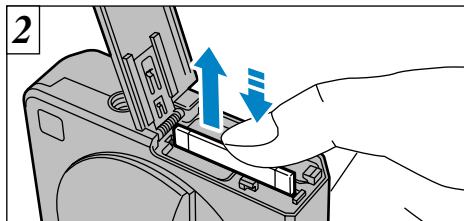
- MG-4SB(4MB)
- MG-8SB(8MB)
- MG-16SB(16MB)
- MG-32SB(32MB)
- MG-16SW(16MB:ID付き)
- MG-32SW(32MB:ID付き)
- MG-64SW(64MB:ID付き)
- MG-128SW(128MB:ID付き)

❗ライトプロテクトシールがはられていると、記録、消去ができません(➡76ページ)。
❗本カメラでの動作保証は弊社製スマートメディアのみとなります。
❗3.3V仕様品の中には「3V」または「ID」という表示のものがあります。
❗スマートメディアについてのご注意は110ページをご参照ください。

オーディオ機能を使用するにはID付きスマートメディアが必要です。

❶電源が切れていることを確認し、バッテリーカバーをスライドさせて開けます。
❷スマートメディアスロットにスマートメディアを確実に奥まで差し込みます。
❸バッテリーカバーを閉めます。

❗電源が入った状態でバッテリーカバーを開けると、スマートメディア情報保護のため電源が切れます。
❗スマートメディアの向きが間違っていると奥まで入りません。また、無理な力を加えないでください。

スマートメディア™を取り出します

❶ファインダーランプが緑色に点灯していることを確認し、電源を切ります。
❷バッテリーカバーをスライドさせて開けます。

! 電源のON/OFFについては16ページをご参照ください。

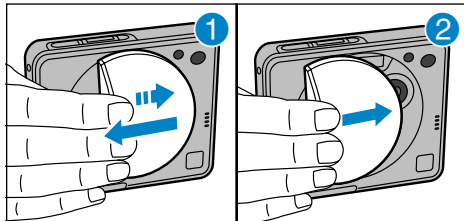
バッテリーカバーは、絶対に電源を入れたまま開けないでください。スマートメディア、または画像ファイルなどが破壊されることがあります。

スマートメディアを「軽く押し込む」と、スマートメディアが少し飛び出しますので、簡単に取り出せます。

! スマートメディアを保管するときは、必ず専用の静電気防止ケースに入れてください。

◆画像のプリントとパソコンへの取り込みについて◆

●プリントするときは77、103ページをご参照ください。
●パソコンに画像を取り込むには、別冊：ソフトウェア取扱ガイドをご参照ください。

1

レンズカバーの開/閉

❶レンズカバーを開けるにはレンズカバーを閉める方向に少し動かすと、自動的に開きます。
❷レンズカバーを閉めるにはロックされるまでレンズカバーをスライドします。

❗レンズカバーを開けたときにレンズ部に触れないでください。

電源のON/OFF

❶電源スイッチを“ POWER ”側にスライドすると電源を入/切できます。
❷電源スイッチを“ AUDIO ”側にスライドすると、オーディオプレーヤーとして使用できます。
❸音楽を聴かないときは、電源スイッチを元の位置に戻してください。

❗電源スイッチが“ AUDIO ”になっているとカメラとして機能しません。

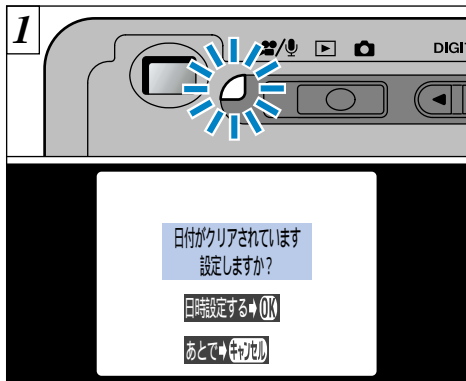
◆オートパワーオフ機能◆

機能有効時（➡96ページ）は電源を入れたまましばらく放置（2分または5分）すると自動的に電源が切れます。ただし、パーティーモード（➡47ページ）、ボイスレコーダー録音中（➡56ページ）、オートプレイ（➡72ページ）、USB接続（➡ 別冊：ソフトウェア取扱ガイド）時はオートパワーオフしません。

■目的に応じて電源を入れる方法を使い分けることができます。

	このようにします
●撮影を行いたい。 ●撮影と再生を切り換えながら使用したい。	AUDIO POWER レンズカバーを開けて電源を入れます。 撮影中（レンズカバーを開けたまま）にオートパワーオフした場合は、電源スイッチで電源を入れます。
●再生のみを行いたい。 ●ボイスレコーダー（➡56ページ）として使用したい。	AUDIO POWER レンズカバーを閉めたまま、電源スイッチで電源を入れます。 モードスイッチ（➡7ページ）が“静止画”で電源を入れると“❗LENS COVER”警告が表示されます。そのときは、モードスイッチを再生に切り換えてください。
●オーディオプレーヤー（➡85ページ）として使用したい。	AUDIO POWER レンズカバーを閉めたまま、電源スイッチを“AUDIO”にスライドします。 リモコンを接続（➡85ページ）して音楽を再生しないかぎり電源は入りません。

1

1

電源を入れるとファインダーランプ［緑］が点灯します。日付がクリアされている場合は、確認画面が表示されます。

- **日時設定する➡OK：日時設定画面になります（➡20ページ）。**
- **あとで➡キャンセル：撮影または再生モードになります。**

! 日時を設定しないと電源を入れるたびに確認画面が表示されます。

2

	液晶モニター		リモコン液晶表示パネル
①	表示なし	①	表示なし
②	白点灯	②	表示なし
③	赤点灯	③	
④	赤点滅	④	

電源を入れバッテリー容量表示を確認します。

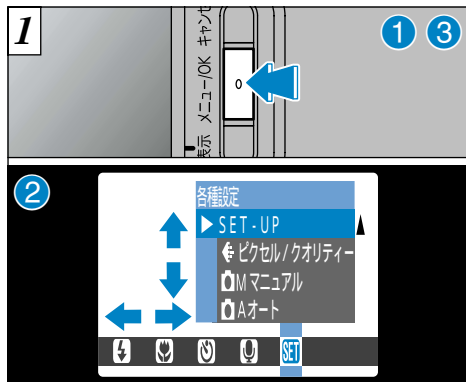
①バッテリーの容量は十分です（表示なし）。

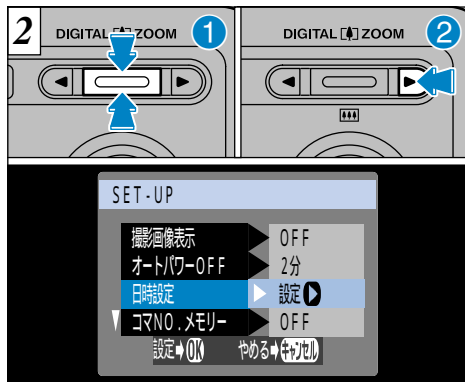
②バッテリーの残容量は約半分以下です。

③バッテリーの容量が不足しています。まもなく電源が切れますので、バッテリーを交換するか充電をおすすめします。

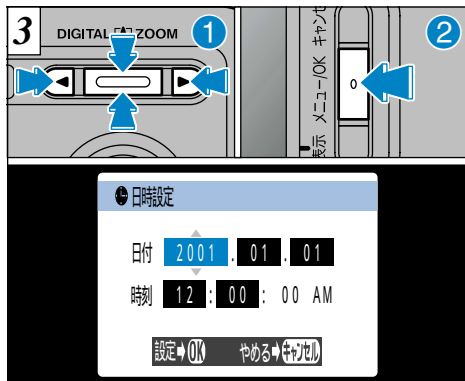
④バッテリーの容量がありません。ただちに表示が消えて動作を終了します。バッテリーを交換するか充電をしてください。

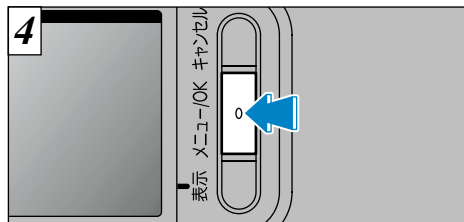
! 日付設定の確認画面が表示中にレンズカバーを閉じたり、撮影/再生モードを切り換えると、日時設定されません（あとで➡キャンセル）。その場合、“日時を合わせます”の 1 から操作してください（➡19ページ）。

日時を合わせます

❶"メニュー/OK"ボタンを押してメニューを表示します。
❷"◀▶▲▼"で"SET 各種設定"から"SET－UP"を選びます。
❸"メニュー/OK"ボタンを押します。

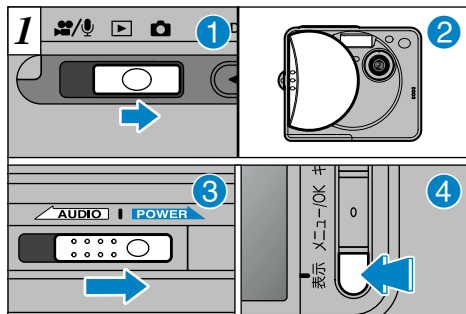
日付がクリアされていて"日時設定する"を選んだ場合は、3から操作します(➡20ページ)。

❶SET－UP(セットアップ)画面が表示されます。"▲▼"で"日時設定"を選びます。
❷"▶"を押します。

!"SET 各種設定"について、詳しくは96ページをご参照ください。
!設定した日時は、ACパワーアダプターを接続またはバッテリーを入れて約3時間以上経過していれば、カメラから両方とも取り外しても、約2時間保持されます。

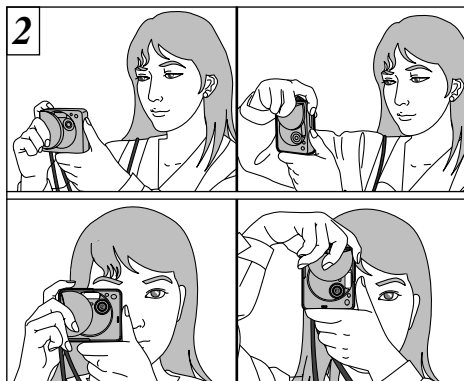
1

❶“ ◀▶ ”で合わせたい項目（年・月・日・時・分）を選び、“ ▲▼ ”で修正します。
❷“ メニュー/OK ”ボタンを押して設定します。

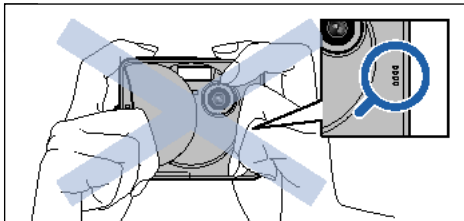
❗“ ▲ ”または“ ▼ ”を押し続けると数字が連続して変わります。
❗時刻表示で“ 12:00:00 ”を越えると、自動的にAM/PMが切り換わります。
❗秒は設定できませんが、時報に正確に合わせるにはゼロ秒時に“ メニュー/OK ”ボタンを押します。

SET－UP画面に戻りますので、“ メニュー/OK ”ボタンを押して、設定を終了します。

日付がクリアされていて“ 日時設定する ”を選んだ場合、SET－UP画面に戻らず撮影または再生モードになります。

静止画モード 撮影してみましょう(オート撮影)

❶モードスイッチを“ 📷 ”に合わせます。
❷レンズカバーを開けます(➡16ページ)。
❸電源を入れます(➡16ページ)。
❹ファインダー撮影(マクロ撮影を除く)では“ 表示 ”ボタンを押して、液晶モニターをOFFにします(➡29ページ)。

●撮影可能距離:約50cm〜無限遠

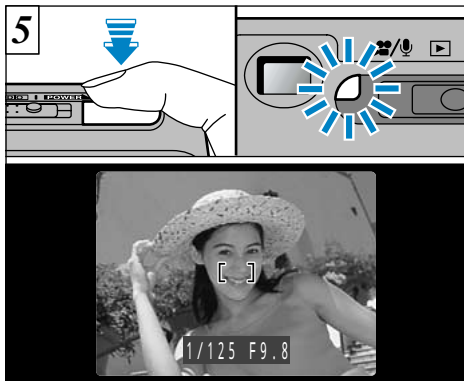
❗“ ❗CARD ERROR ”“ ❗CARD NOT INITIALIZED ”“ ❗WRITE ERROR ”が表示された場合は、まずスマートメディアの接触面(金色の部分)を乾いた柔らかい布などでよくふいてから、再度セットしてください。また、フォーマット(➡68ページ)が必要な場合があります。

ショルダーストラップを肩に掛けます。両脇をしめ、両手でカメラを構えます。

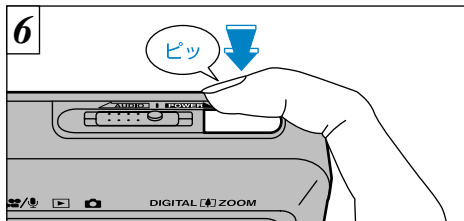
❗約50cmより近づいた場合にはマクロを設定してください(➡44ページ)。
❗消費電力を抑えるにはファインダー撮影(液晶モニターOFF)をおすすめします。
❗撮影するときカメラが動くと、画像がブレる原因になります。とくに、暗い場所で撮影する場合は手ブレ防止のためストロボ撮影(➡41ページ)を行うか、三脚の使用をおすすめします。

レンズやマイク、ストロボ調光センサーに、指やストラップがかからないようにしてください。

! 指やストラップがかかると、適正な撮影ができないことがあります。
! レンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は106ページを参照してレンズをきれいにしてください。

4

液晶モニターまたはファインダーを使って、被写体がAF（オートフォーカス）フレーム全体を満たすようにねらいます。

! 被写体がAFフレームから外れてしまう場合は、AF/AEロック撮影を行ってください（➡26ページ）。
! 撮影範囲を正確に合わせたい場合は、液晶モニターを使った撮影をおすすめします。

シャッターボタンを半押しすると、液晶モニターのAFフレームが小さくなり、“シャッタースピード/絞り値”が表示され、ファインダーランプ[緑]が点滅から点灯（➡24ページ）するとピント合わせは完了です。

- シャッターボタンを半押しすると一時的に液晶モニターの映像が止まりますが、記録される画像とは異なります。
- 液晶モニターに光が差し込む場合や薄暗いシーンでは、液晶モニターで被写体が確認しにくいことがあります。その場合、ファインダーの使用をおすすめします。

半押しのままさらにシャッターボタンを押し込むと（全押し）、“ピッ”と音が鳴り撮影されます。続いて画像が記録されます。

- シャッターボタンをいっきに全押しするとAFフレームは変化せず、そのまま撮影されます。
- 暗くてピントが合わない場合は、被写体から2m程度離れて撮影してください。
- 撮影するとファインダーランプが橙色に点灯し（この間撮影不可）、その後緑色に変わると撮影できます。
- ストロボ充電中はファインダーランプが橙色に点滅します。液晶モニターがONの場合は一瞬黒い画面になる場合がありますが、異常ではありません。
- 警告表示については112〜115ページをご参照ください。

■ファインダーランプ表示について

表　示	状　態	操　作
緑点灯	準備完了	すべての操作が可能
緑点滅	AF・AE動作中、手ブレ警告、AF警告	すべての操作が可能
緑・橙の交互点滅	スマートメディアに記録中	ズーム操作と撮影のみ可能
橙点灯	スマートメディアに記録中	操作できません
橙点滅	ストロボ充電中、PC通信中	操作できません
赤点滅	・スマートメディアについての警告 未挿入、未フォーマット、フォーマット異常、ライトプロテクトシールがはられている、空き容量がない、スマートメディア異常 ・レンズ動作異常	操作できません

◆オートフォーカスの苦手な被写体◆

このカメラは、正確なオートフォーカス機構を採用していますが、次のような条件・被写体に対してはオートフォーカスが働きにくく、ピントが合わない状態で撮影されることがあります。

- ●鏡・車のボディなど光沢があるもの
- ●ガラス越しの被写体
- ●髪の毛や毛皮のように光を反射しにくいもの
- ●煙や炎などのように実体のないもの
- ●被写体が暗いとき
- ●被写体の明暗差がはっきりしないとき（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- ●高速で移動する被写体
- ●AFフレーム付近に主被写体の他に明暗差がハッキリしている被写体が手前や後方にあるとき（コントラストの強い背景の前の人物など）

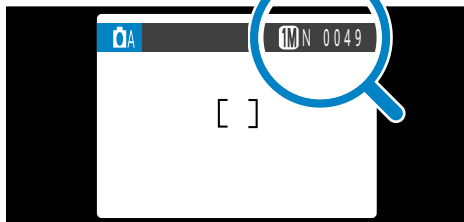
このような場合にはAF/AEロック（➡26ページ）をお使いください。

撮影可能枚数について

液晶モニターに撮影可能枚数が表示されます。

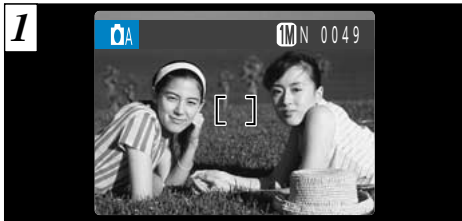
❗ ピクセル（画像サイズ）/クオリティー（圧縮率）の変更は、98ページをご参照ください。

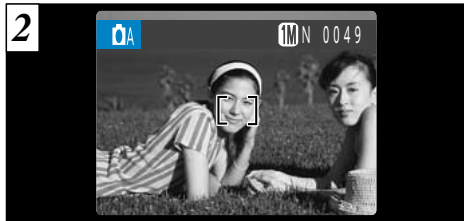
❗ 工場出荷時設定は、1M（ピクセル）、N（クオリティー：NORMAL）です。

2

■スマートメディア™標準撮影枚数

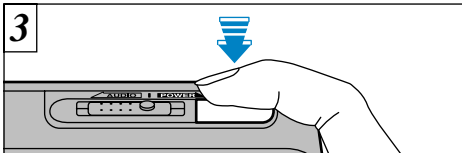
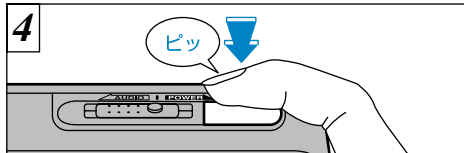
（被写体によって記録されるデータ量が一定ではないため、記録後の撮影可能枚数が減らないか、または2コマ減る場合があります。また、撮影枚数はスマートメディアの容量が大きくなるほど、標準枚数との差が大きくなる場合があります。）

ピクセル（記録画素数）	4M 2400×1800（432万）			2M 1600×1200（192万）		1M 1280×960（約123万）		VGA 640×480（約31万）
クオリティー	FINE	NORMAL	BASIC	FINE	NORMAL	FINE	NORMAL	NORMAL
画像1枚のファイルサイズ	約1700KB	約810KB	約330KB	約770KB	約390KB	約620KB	約320KB	約125KB
MG-4S（4MB）	2	4	11	4	9	6	12	30
MG-8S（8MB）	4	9	23	10	19	12	25	61
MG-16S（16MB）	8	19	46	20	39	25	49	122
MG-32S（32MB）	18	38	94	41	79	50	99	247
MG-64S（64MB）	36	77	189	82	159	101	198	497
MG-128S（128MB）	74	156	379	166	319	204	398	997

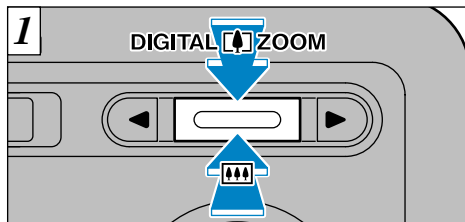
＊スマートメディアをフォーマットした状態の撮影可能枚数です。

AF/AEロック撮影

このような構図では被写体（この場合は人物）がAFフレームから外れています。このまま撮影すると人物にピントが合いません。

被写体がAFフレームに入るようにカメラを少し動かします。

◆AF（オートフォーカス）/AE（オートエクスポージャー）ロック◆

このカメラでは、シャッターボタンを半押しするとピントと露出を固定（AF/AEロック）します。液晶モニターの端の被写体にピントを合わせたり、露出を決めてから構図を変えたい場合には、AF/AEロックをしてから構図を変えて撮影すると、きれいに撮影できます。

そのままシャッターボタンを半押し(AF/AEロック)し、液晶モニターのAFフレームが小さくなり、“シャッタースピード/絞り値”が表示(ファインダーランプ[緑]が点滅から点灯)されるのを確認します。

シャッターボタンを半押し(AF/AEロック)のまま最初の構図に戻して、さらにシャッターボタンを押し込みます。

❗ AF/AEロック操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。
❗ AF/AEロック撮影は、どのような撮影方法でも有効です。AF/AEロックをうまく活用しましょう。

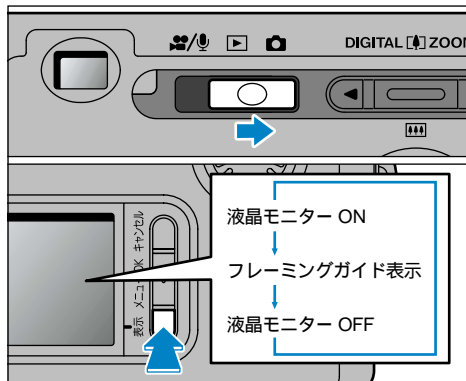
デジタルズーム

ピクセル（画像サイズ）設定が“ 4M ”以外ではデジタルズームできます。ただし、液晶モニターを使用した撮影でのみ有効です。
被写体を大きく写したいときは、“ ▲ ”（望遠）を押します。広い範囲を写したいときは、“ ▼ ”（広角）を押します。

液晶モニターには“ ズームバー ”が表示されます。ズームしたときにピントがずれた場合は、シャッターボタンを半押しすると映像を確認しやすくなります。

●デジタルズーム焦点距離（35mmカメラ換算）

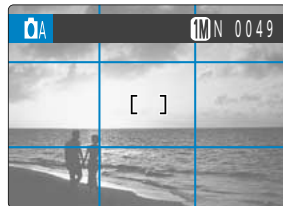
2M ：約36mm〜約54mm相当（約1.5倍）
1M ：約36mm〜約67.68mm相当（約1.88倍）
VGA ：約36mm〜約135mm相当（約3.75倍）
ムービー：約36mm〜約67.5mm相当（約1.875倍）

! “ 4M ”では、デジタルズームはできません。
! デジタルズームにすると、液晶モニターの映像がなめらかに変化しなくなります。
! ピクセル（画像サイズ）設定の変更（➡98ページ）。

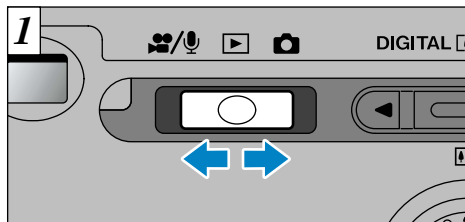
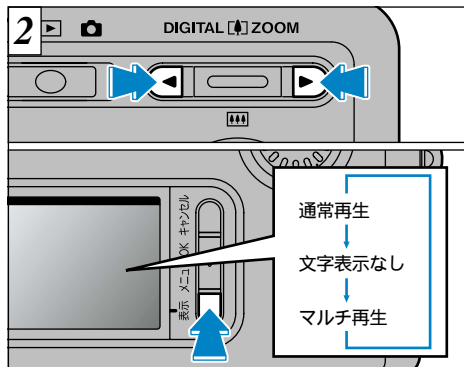
ベストフレーミング機能

モードスイッチが“ 📷 ”で設定できます。“ 表示 ”ボタンを押すごとに液晶モニターの表示が切り換わります。“ 表示 ”ボタンを押して“ フレーミングガイド ”を表示します。

縦横3分割フレーム

主要な被写体を縦横の交点に配置したり、横のラインに地平線や水平線を合わせて使用します。被写体の大きさやバランスを見ながら、意図的な構図で撮影できます。

❗ フレーミングガイドは画像に記録されません。
❗ 縦横3分割フレームのラインは、縦横の記録画素数の3分割の目安です。プリントすると3分割の位置から少しずれる場合もあります。

◆重要◆

必ずAF/AEロックを使って構図を決めてください。AF/AEロックをしないとピントが合わないことがあります。

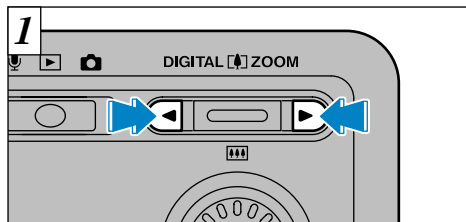
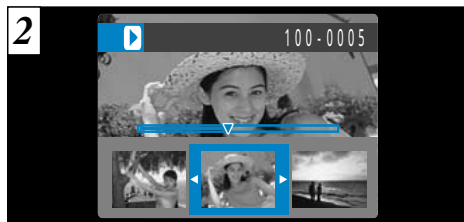
画像を見るには(再生)

モードスイッチを“ ▶ ”に合わせます。

“ ▶ ”順送り、“ ◀ ”逆送りで画像を見ることができます。また、“ 表示 ”ボタンを押すたびに液晶モニターの表示が切り換わります。

! モードスイッチを“ ▶ ”に合わせたときは、最後に撮影した画像が再生されます。

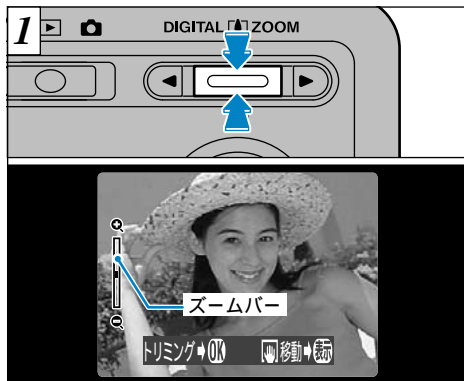
! 液晶モニターが見にくい場合は、液晶モニターの明るさを調節してください(➡97、99ページ)。

◆再生できる静止画について◆

本機で記録した静止画、または弊社製デジタルカメラ FinePixシリーズ、CLIP-IT80/50、DS-30/20/10およびDS-260HD/250HD/230HD、あるいはそのほかのDCF対応カメラで、3.3V仕様のスマートメディアに記録した静止画(非圧縮を除く)が再生できます。

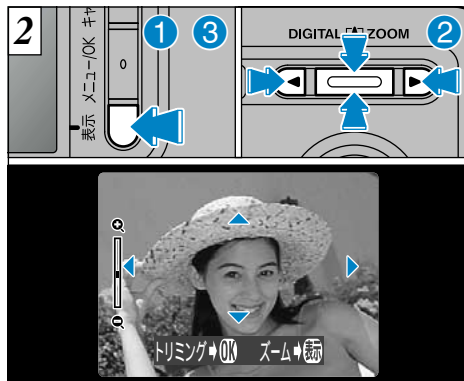
画像の早送り

再生中に“ ◀ ”または“ ▶ ”を約1秒間押し続けると、画像を早送りできます。

早送り中は小さく3コマ同時に表示されます。早送りをやめると、橙色の枠で囲われた画像が1コマ表示されます。

! スマートメディア内のおおよその再生位置が、目安となるバーで表示されます。
! “ 表示 ”ボタンを押して“ 文字表示なし ”に切り換えた場合、目安となるバーや、コマNo.は表示されません。
! マルチ再生中は画像の早送りはできません。

再生ズーム

1コマ再生中に“ ▲▼ ”を押すと、静止画をズームします。このとき“ ズームバー ”が表示されます。

●ズーム倍率

4M	2400×1800ピクセル画像：最大15倍
2M	1600×1200ピクセル画像：最大10倍
1M	1280× 960ピクセル画像：最大 8倍
VGA	640× 480ピクセル画像：最大 4倍

! ズーム中に“ ◀▶ ”を押すと、ズームが解除され次の画像に送られます。

ズームしたあとに、

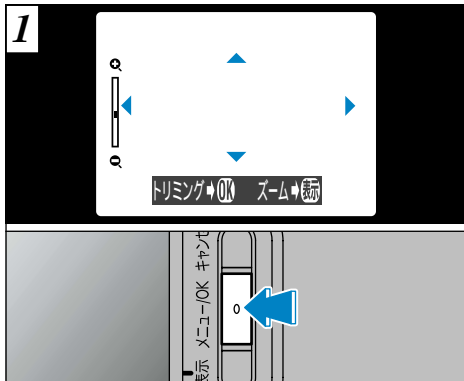
❶“ 表示 ”ボタンを押します。

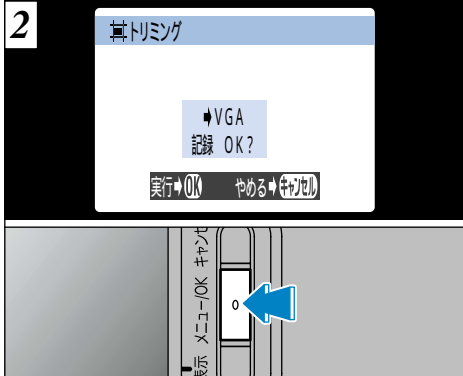
❷“ ▲▼◀▶ ”を押すと、見える範囲を移動できます。

❸もう一度、“ 表示 ”ボタンを押すとズームに戻ります。

! “ キャンセル ”ボタンを押すと画像が等倍に戻ります。

撮影後のピント確認などに便利です。

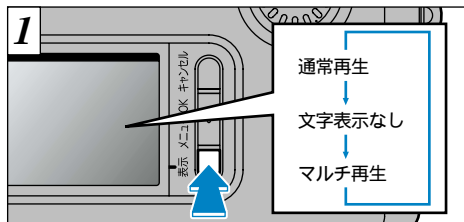
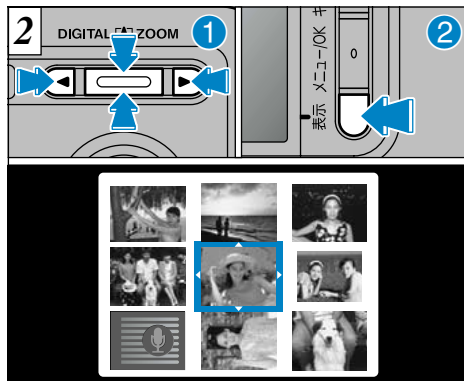
トリミング保存

再生ズームを利用後、“ メニュー/OK ”ボタンを押してトリミングします。

ズーム倍率によって保存される画像サイズが変わり、VGAになる場合は“ トリミング➡OK ”の文字が黄色になります。さらにVGA以下になると“ トリミング➡OK ”表示が消えます。

保存されるサイズを確認し、“ メニュー/OK ”ボタンを押します。トリミングした画像は別ファイルで保存されます。

■画像サイズについて

2M	A5サイズ程度のプリントに適します。
1M	A6サイズ程度のプリントに適します。
VGA	プリント時の画質が低下するため、トリミングの文字が黄色になります。

＊VGA以下はプリントに適さないため、トリミング➡OKの文字が消えトリミング保存できません。

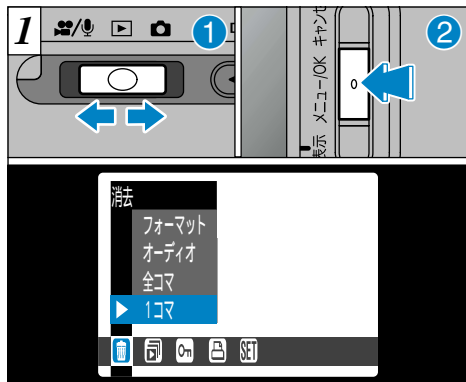
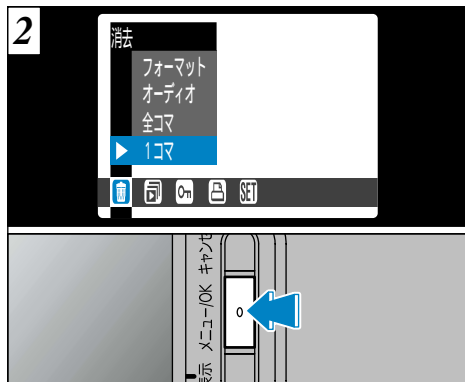
マルチ再生

再生中に“ 表示 ”ボタンを押すと液晶モニターの表示が切り換わります。“ 表示 ”ボタンを押してマルチ再生（9コマ）にします。

❶“ ▲▼◀▶ ”でカーソル（橙色の枠）を動かして、コマを選べます。数回“ ▲ ”か“ ▼ ”を押すと次のページに切り換わります。

❷もう一度“ 表示 ”ボタンを押すと、選んだ画像が大きく表示されます。

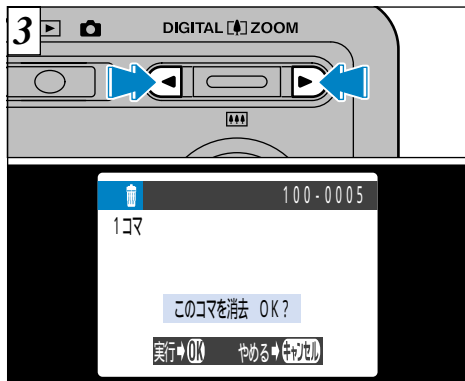
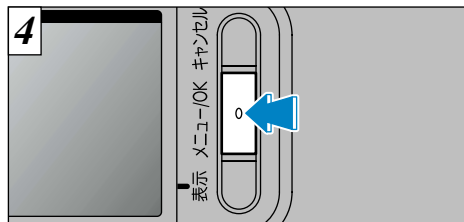
! 液晶モニターの文字表示は約3秒後に消えます。

! 再生ズーム中はマルチ再生はできません。

! マルチ再生は、1コマ消去、1コマプロテクト、プリント予約1コマ設定、プリント予約確認/解除で画像を選択する場合に便利です。

画像を消すには（1コマ消去）

❶モードスイッチを“ ▶ ”に合わせます。
❷“ メニュー/OK ”ボタンを押すとメニューが表示されます。

“ 🗑消去 ”の“ 1コマ ”を選んだ状態で“ メニュー/OK ”ボタンを押します。

2

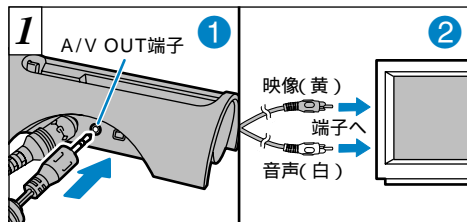
❗“ 🗑消去 ”のメニューについて、詳しくは68ページをご参照ください。
❗画像を選ぶときは、マルチ再生（➡34ページ）すると便利です。

“ ◀▶ ”を押して消去したい画像を表示します。

“ メニュー/OK ”ボタンを押すと、表示している画像が消去されます。消去が終わると次の画像が再生され、“ このコマを消去 OK？ ”が表示されます。

❗1コマ消去をやめたい場合は、“ キャンセル ”ボタンを押しメニューに戻ります。メニューを終了するには、もう一度“ キャンセル ”ボタンを押してください。

❗“ ！ プロテクトされています ”が表示された場合、プロテクトを解除する必要があります(➡73ページ)。

❗“ プリント予約されています このコマを消去しますか？ ”が表示された場合は、プリント予約指定されています。“ メニュー/OK ”ボタンを押すと画像を消去し、そのプリント予約指定が解除されます。

消去を続けるには、3からの操作を繰り返します。

テレビに画像を映すには（クレードル使用）

❶クレードルにA/Vケーブル（付属品）のプラグを接続します。
❷テレビの音声入力/映像入力端子にA/Vケーブルのピンプラグを接続します。

クレードルにカメラを載せ、スライドさせて接続します。カメラとテレビの電源を入れ、テレビをビデオ入力モードに切り換えます。

2

! ACパワーアダプターAC-5Vを接続することをおすすめします。
! テレビの音声入力端子がステレオの場合は左（白）に接続してください。
! テレビの音声入力/映像入力については、テレビの説明書をご参照ください。

テレビに画像を映すときはパソコンに接続しないように、クレードルから専用USBケーブルを外してください。

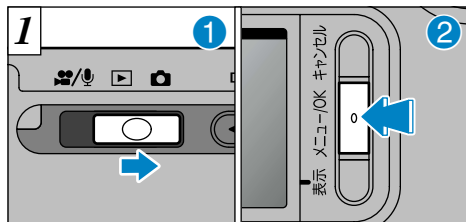
! カメラの“ 表示 ”ボタンは押せません。無理に押さないでください。
! A/Vケーブルを接続するとカメラのスピーカーから音声は出力されません。
! 電源を入れたままA/Vケーブルを抜き差しすると、音声が正しく出力されない場合があります。

応用編 撮影では

応用編 撮影では、モードスイッチを“ ”または“ / ”に合わせた状態で行えるいろいろな機能をご紹介します。

■撮影モードメニュー一覧

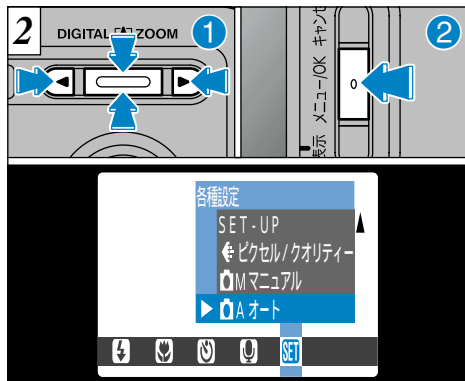
モードスイッチ	撮影モード	設定可能撮影メニュー	工場出荷時	共通メニュー
静止画モード	A オート（➡39ページ）	ストロボ（41ページ）	AUTO	SET 各種設定 ※各種設定について詳しくは96ページ参照。
		マクロ（44ページ）	OFF	
		セルフタイマー（45ページ）	OFF	
		パーティーモード（47ページ）		
		ボイスメモ（48ページ）	OFF	
	M マニュアル（➡39ページ）	ストロボ（41ページ）	AUTO	
		マクロ（44ページ）	OFF	
		セルフタイマー（45ページ）	OFF	
		パーティーモード（47ページ）		
		ボイスメモ（48ページ）	OFF	
		連写（50ページ）	OFF	
		アカルサ（51ページ）	0	
		WB ホワイトバランス（52ページ）	AUTO	
/ 動画/音声モード	ムービー（➡53ページ）	–	–	
	ボイスレコーダー（➡56ページ）	–	–	

静止画モード 📷Aオート/📷Mマニュアルの切り換え

❶モードスイッチを“ 📷 ”に合わせます。
❷“ メニュー/OK ”ボタンを押して、メニューを表示します。

📷A オート

最も簡単に撮影できる、撮影用途の広い撮影モードです。

📷M マニュアル

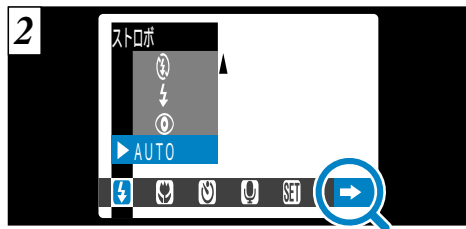
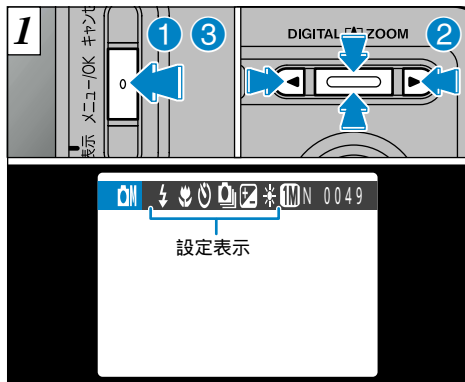
“ 連写・アカルサ・ホワイトバランス ”を設定できる撮影モードです。

❶“ ▲▼◀▶ ”で“ SET 各種設定 ”から“ 📷Aオート ”か“ 📷Mマニュアル ”を選びます。
❷“ メニュー/OK ”ボタンを押して決定します。

3

! ピクセル/クオリティー、SET－UP、モニター明るさ、音量について、詳しくは96～101ページをご参照ください。

撮影メニューの操作

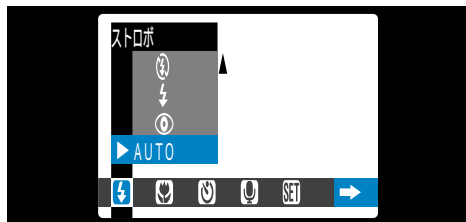
❶“ メニュー/OK ”ボタンを押してメニューを表示します。
❷“ ◀▶ ”でメニューを選びます。“ ▲▼ ”で設定を変更します。
❸“ メニュー/OK ”ボタンを押して決定します。

設定を有効にすると画面上部に表示されます。

“ マニュアル ”では、メニュー端の“ ⬅➡ ”側へ、“ ◀▶ ”を押すとメニューのページが切り換わります。

撮影モードにより設定可能メニューは変わります。詳しくは38ページをご参照ください。

ストロボ

"A・M"の撮影モードで設定できます。
撮影の目的に合わせてストロボを使用します。

- "AUTO・・・・S"の5種
- ストロボ撮影可能距離（Aオート時）
  約0.4m〜約3.5m

AUTO オートストロボ

一般的な撮影に使用します。撮影状況に応じて、ストロボが自動的に発光します。

! ストロボ撮影をした場合、充電するために映像が消えて黒い画面になることがあります。このときファインダーランプが橙色の点滅をします。

! ちりやほこりの多い環境でストロボ撮影すると、ストロボの反射で画像に白点が発生することがあります。

赤目軽減ストロボ

暗いところでひとみを自然に撮りたいときに使用します。撮影状況に応じて、ストロボが自動的に発光します。
撮影前にストロボがプレ発光し、次に撮影のためのストロボが発光します。

強制発光ストロボ

窓際や木陰などの逆光撮影、蛍光灯などの照明の下で適正な色に撮りたいときに使用します。明るいところでもストロボ撮影が行われます。

◆赤目現象について◆

人物を暗いところでストロボ撮影した場合、目が赤く写ることがあります。これは、ストロボの光が目の中で反射することにより起こる現象です。赤目を起こりにくくするために、赤目軽減ストロボを積極的にご利用ください。赤目軽減ストロボを使用するとともに、

- 撮られる人にカメラの方に視線を向けてもらう
- なるべく近づいて撮影する

などするとより効果的です。

ストロボ発光禁止

室内照明を利用しての撮影、ガラス越しの撮影、舞台や室内競技などのストロボ光が届かない距離での撮影などに使用します。
この場合、オートホワイトバランス（➡124ページ）が働き、周囲光の雰囲気を残しつつ自然な色に撮影できます。

S スローシンクロ

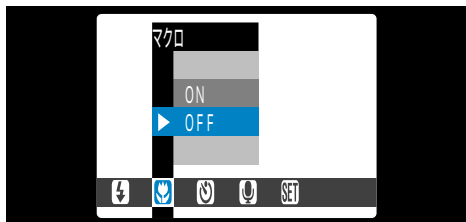
スローシャッターでストロボ発光します。夜景と人物をきれいに撮影できます。

3

! 暗い場所でストロボ発光禁止で撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。
! 手ブレ警告については、24、113ページをご参照ください。

! 明るい撮影シーンでは露出オーバーになることがあります。
! スローシャッターになりますので、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

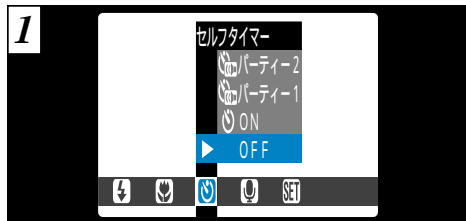
マクロ（近距離）

“ A・ M ”の撮影モードで設定できます。
マクロを設定すると近距離撮影ができます。

●撮影可能距離：約6cm〜約65cm

撮影の状況に応じてストロボ撮影の設定をしてください。40cmより近づいた場合には、ストロボを発光禁止にすることをおすすめします（➡43ページ）。

! 液晶モニターが自動的にONになります。
! マクロ撮影は、次のとき自動的に解除されます。
- 撮影モードを切り換えたとき
- 電源が切れたとき

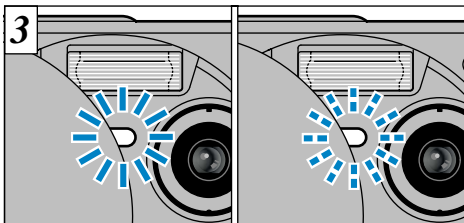
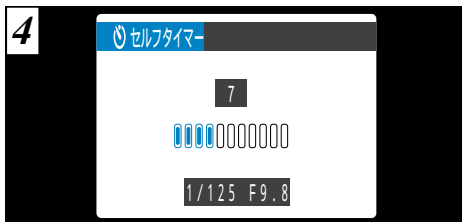
! 暗い場所で撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

マクロでファインダーを使うと、ファインダー窓とレンズの位置が違うため、実際に見える範囲と写る範囲にズレが生じます。そのため、液晶モニターを使った撮影をおすすめします。

セルフタイマー

“ A・ M ”の撮影モードで設定できます。
約10秒間のセルフタイマー撮影です。撮影者自身を撮影する場合などに使用します。
“ パーティー ”については47ページをご参照ください。

被写体にAFフレームを合わせ、シャッターボタンを押すとAFフレーム内に見えるものにピントが合い、セルフタイマーが開始されます。

! セルフタイマーは、撮影ごとや次のときに自動的に解除されます。
- 撮影モード、再生モードを切り換えたとき
- 電源が切れたとき

! AF/AEロック撮影も可能です（➡26ページ）。
! レンズの前に立ってシャッターボタンを押さないでください。ピンボケになったり、適正な明るさ（露出）にならないことがあります。

セルフタイマーランプが約5秒間点灯したのち点滅に変わり、さらに約5秒後に撮影されます。

撮影されるまでの間、液晶モニターにカウントダウン表示されます。
セルフタイマーは撮影ごとに自動的に解除されます。

開始したセルフタイマー撮影は、“ キャンセル ”ボタンを押すと解除できます。

パーティー

パーティーで盛り上がった際の大きな笑い声や歓声などに反応して自動的に撮影されるセルフ撮影です。

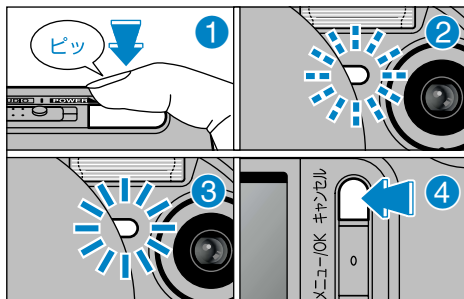
- **パーティー1：大きな笑い声や歓声などに反応してシャッターが切れます。**
- **パーティー2：1よりも長い時間継続した笑い声や歓声などに反応してシャッターが切れます。パーティー1でシャッターが切れ過ぎる場合はこちらのモードをお試しください。**

! 連写かボイスメモがONになっているとパーティーモードは設定できません。

! ボイスメモ（➡48ページ）・オートパワーOFF（➡96ページ）・撮影画像表示：プレビュー（➡100ページ）は無効になります。

■バッテリー作動可能時間（フル充電時）

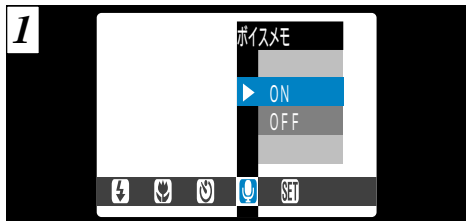
液晶モニターON	約50分
液晶モニターOFF	約115分

＊当社試験条件による作動可能時間です。

❶**シャッターボタンを押すとパーティー撮影が開始されます。**
❷**実行中はセルフタイマーランプが点滅します。**
❸**撮影されるときにセルフタイマーランプが点灯します。**
❹**パーティー撮影を終了するには“キャンセル”ボタンを押します。**

! パーティー撮影を長時間に渡って行う場合は、撮影を開始する前に液晶モニターをOFFにすることをおすすめします。液晶モニターをOFFにするには、“表示”ボタンを2回押してください（➡29ページ）。

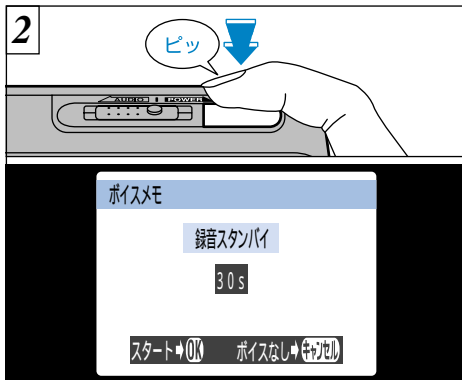
! 撮影状況により赤目に撮影される場合は、ストロボを赤目軽減ストロボにすることをおすすめします（➡42ページ）。

3

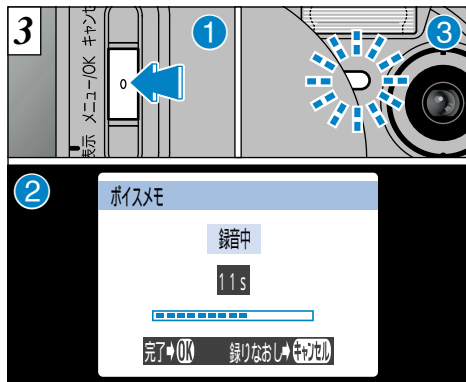
撮影メニュー ボイスメモ

“ A・ M ”の撮影モードで設定できます。撮影直後にその画像に対して最長30秒間の音声メモ（コメント）を付けることができます。

●録音形式：WAVE（➡124ページ）
PCM記録形式
音声ファイルサイズ：約240KB（30秒録音時）

! 連写かパーティーモードが“ ON ”になっているとボイスメモは設定できません。
! スマートメディアの空き容量によっては、録音時間が30秒より短くなることがあります。
! 液晶モニターをOFFにしても、ボイスメモで撮影すると自動的にONになります。録音終了後OFFに戻ります。

2
ピッ
AUDIO POWER
ボイスメモ
録音スタンバイ
30s
スタート➡OK　ボイスなし➡キャンセル

通常どおり撮影します。続けて“ 録音スタンバイ ”と液晶モニターに表示されます。

! 録音しない場合は“ キャンセル ”ボタンを押します。ただし画像は記録されます。

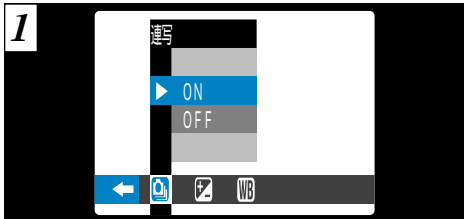
カメラ前面のマイク（➡6ページ）に向かって録音してください。約20cm離れると、うまく録音できます。

❶“メニュー/OK”ボタンを押すと録音が開始されます。
❷録音中は液晶モニターに残り時間が表示され、セルフタイマーランプが点滅します。
❸残り時間が5秒になると、セルフタイマーランプが早く点滅します。

30秒間録音すると、液晶モニターに“録音終了”と表示されます。

完了する場合：“メニュー/OK”ボタンを押します。
録り直しする場合：“キャンセル”ボタンを押します。

❗途中で完了する場合は“メニュー/OK”ボタンを押してください。

3

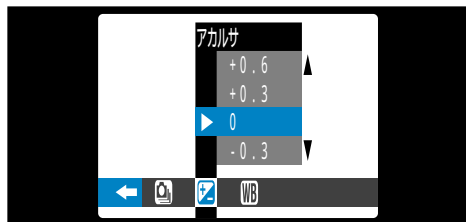
連写

“ M ”の撮影モードで設定できます。
最短約0.2秒間隔で最大3コマ連写できます。

撮影すると撮影結果（左から撮影した順序）が表示され、自動的に保存されます。

- ボイスメモかパーティーモードが“ ON ”になっていると連写は設定できません。
- ストロボ撮影はできません。
- ピクセル/クオリティー設定にかかわらず、連写速度は一定です。

- ピント、露出は1コマ目の撮影時に決定され、途中で変化しません。
- 撮影画像表示（➡100ページ）をOFFにしても撮影結果が表示されます。
- ファイル記録時間は、“ 4M ・NORMAL ”の画像で約7秒です（3コマ連写した場合）。

撮影結果を選択して記録する場合は101ページをご参照ください。

アカルサ（露出補正）

“ M ”の撮影モードで設定できます。
被写体と背景のコントラスト（明暗の差）がきわめて大きい場合など、適正な明るさ（露出）が得られないときに使用します。

- **補正範囲：11段階**
  （－1.5EV～＋1.5EV、約0.3EVステップ）
  EVについては122ページをご参照ください。

◆次のような被写体のとき効果があります◆

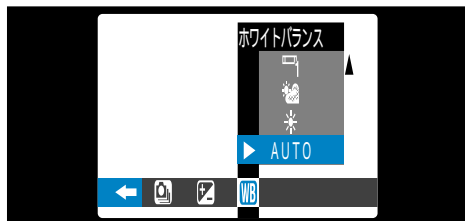
＋（プラス）補正の目安

- 白っぽい紙に黒い文字の印刷物の複写
  ：＋1.5EV
- 逆光の人物撮影：＋0.6～＋1.5EV
- スキー場などの明るい場面や反射の強い場合：＋0.9EV
- 液晶モニター内を空の部分が大きく占める場合：＋0.9EV

－（マイナス）補正の目安

- スポットライトを浴びた人物、特にバックが暗い場合：－0.6EV
- 黒っぽい紙に白い文字の印刷物の複写
  ：－0.6EV
- 常緑樹または色の濃い葉など反射率が低い場合：－0.6EV

次のような状態では、無効になります。
- オートまたは赤目軽減でストロボが発光したとき
- 強制発光で撮影シーンが暗いとき

WB ホワイトバランス（光源選択）

" M "の撮影モードで設定できます。

撮影時の環境・照明光に合わせ、ホワイトバランスを固定して撮影を行いたい場合に設定を変更します。

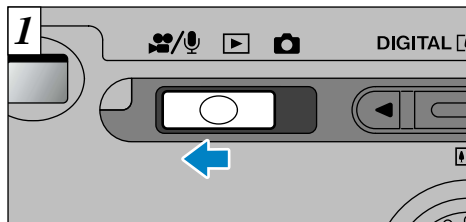
AUTO時は、人物の顔アップなどの被写体や特殊な光源下では、正しいホワイトバランスが得られない場合があります。その場合は光源に合わせたホワイトバランスを選択してください。

ホワイトバランスについては124ページをご参照ください。

- AUTO ：自動調整（光源の雰囲気を残した撮影）
- ：晴れた屋外での撮影
- ：日陰での撮影
- 1 ：昼光色蛍光灯下での撮影
- 2 ：昼白色蛍光灯下での撮影
- 3 ：白色蛍光灯下での撮影
- ：電球、白熱灯下での撮影

＊ストロボ発光時は、ホワイトバランス設定は無効になりますので、意図した撮影の場合ストロボを発光禁止（➡43ページ）にしてください。

ムービー（動画）

モードスイッチを“ ”に合わせます。

液晶モニターに撮影可能時間と“スタンバイ”が表示されます。

ムービー（動画）

一回、最長80秒間のムービー撮影モードです。

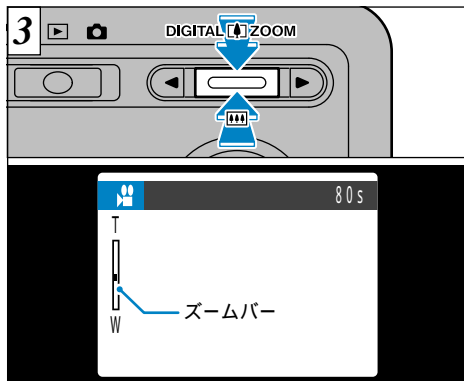
●撮影形式：Motion JPEG形式（➡123ページ）
320×240ピクセル
10フレーム/秒
音声付き

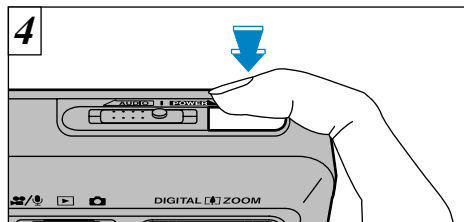
! 音声が同時に記録されるので、指などでマイク（➡6ページ）をふさがないようご注意ください。
! スマートメディアの空き容量によっては、一回の撮影時間が80秒より短くなることがあります。
! 液晶モニターをOFFにすることはできません。

■スマートメディア標準撮影可能時間

スマートメディア容量	撮影可能時間（秒）
MG-4S（4MB）	約23
MG-8S（8MB）	約47
MG-16S（16MB）	約94
MG-32S（32MB）	約191
MG-64S（64MB）	約385
MG-128S（128MB）	約774

＊スマートメディアをフォーマットした状態の撮影可能時間です。

ムービー(動画)

“ ▲▼ ”でズームできます。液晶モニターに“ ズームバー ”が表示されます。

●デジタルズーム焦点距離(35mmカメラ換算)
　約36mm〜約67.5mm相当(約1.875倍)

シャッターボタンを全押しすると、撮影が開始されます。

❗シャッターボタンを押し続ける必要はありません。
❗ピントは約80cm〜無限遠の固定になります。
❗撮影中はピント、ホワイトバランスは固定ですが、露出はシーンに応じて自動的に変化します。

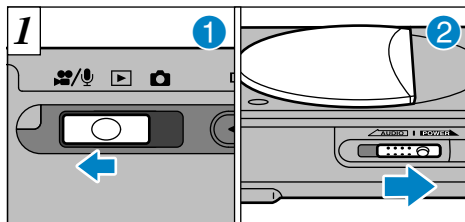
ホワイトバランスはシャッターボタンを全押しすると、自動的に設定されます。

撮影中は、液晶モニター右上に残り時間をカウントダウン表示します。

撮影中にもう一度シャッターボタンを押すと撮影を終了し、スマートメディアへ記録します。

❗残り時間がなくなると自動的に録画が終了し、スマートメディアに記録されます。

❗約８０秒の動画（約１３ＭＢ）のスマートメディアへの記録時間は、約１１秒です。

❗撮影開始後すぐに終了しても、約3秒間だけ撮影されます。

ボイスレコーダー

①モードスイッチを"🎥/🎙"に合わせます。
②必ずレンズカバーを閉めたまま、電源スイッチで電源を入れます。

液晶モニター右上に録音可能時間、液晶モニター中央に録音経過時間と"スタンバイ"が表示されます。

❗液晶モニターをOFFにするには、録音を開始する前に"表示"ボタンを押します。

ボイスレコーダー

一回、約9時間の音声録音モードです(MG-128S使用時)。

●録音形式：WAVE(➡124ページ)
IMA-ADPCM圧縮記録形式

❗指などでマイク(➡6ページ)をふさがないようご注意ください。

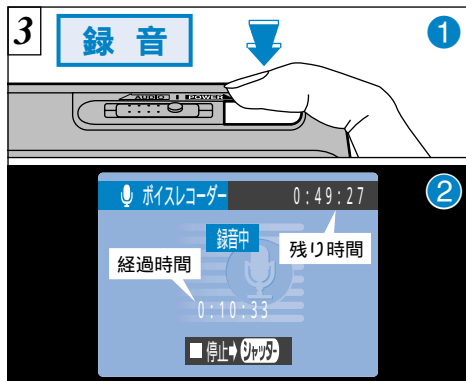
■バッテリー作動可能時間(フル充電時)

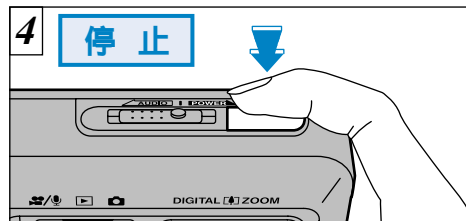
液晶モニターON	約80分
液晶モニターOFF	約120分

＊長時間音声録音をするには、クレードルとACパワーアダプターAC-5Vの使用をおすすめします。

■スマートメディア標準録音可能時間

スマートメディア容量	録音可能時間
MG-4S(4MB)	16分31秒
MG-8S(8MB)	33分21秒
MG-16S(16MB)	1時間 6分19秒
MG-32S(32MB)	2時間13分39秒
MG-64S(64MB)	4時間28分14秒
MG-128S(128MB)	8時間57分30秒

＊スマートメディアをフォーマットした状態の録音可能時間です。
＊スマートメディアの空き容量によっては、一回の録音時間が短くなることがあります。

❶シャッターボタンを全押しすると録音が開始されます。
❷録音中は、液晶モニターに経過時間と残り時間をカウント表示し、ファインダーランプが橙色に点灯します。

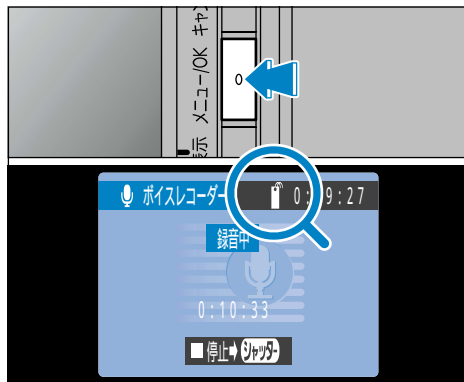
! シャッターボタンを押し続ける必要はありません。
! 残り時間がなくなると自動的に録音が終了します。
! ボイスレコーダー録音中はオートパワーオフは無効になります。

録音中にもう一度シャッターボタンを押すと録音を終了します。

! 録音開始後、すぐに終了しても約3秒間だけ録音されます。

IMA-ADPCM圧縮記録形式のため、本機以外では“ ! READ ERROR ”を表示し再生できないことがあります。

3

ボイスインデックス機能

ボイスレコーダー再生時に、重要な会話などが録音されている箇所から簡単に再生できるように、インデックス（ ）を設定する機能です。
1つのボイスファイルに秒単位に256カ所までボイスインデックスを設定できます。
（ボイスインデックスは最短約1秒間隔に連続で設定できます。）

録音中に“メニュー/OK”ボタンを押すと設定され、画面に“ ”が表示されます。

- ボイスインデックスを上限を超えて設定しようとすると、“ INDEX FULL ”が表示され設定できません。
- ボイスレコーダー再生時にはボイスインデックスの設定、削除ができます（➡66ページ）。
- この機能は本機でのみ使用できる機能です。

応用編 再生では

応用編 再生では、モードスイッチを“ ▶ ”に合わせた状態で行えるいろいろな機能をご紹介します。

■再生モードメニュー一覧

再生しているファイル	静止画	ムービー（動画）	ボイスレコーダー
設定可能再生メニュー	消去（68ページ） オートプレイ（72ページ） プロテクト（73ページ） プリント予約（77ページ） SET 各種設定（96ページ）	消去（68ページ） オートプレイ（72ページ） プロテクト（73ページ） — SET 各種設定（96ページ）	消去（68ページ） — プロテクト（73ページ） — SET 各種設定（96ページ）

4

ムービー(動画)再生

“◀▶”でムービーファイルを選びます。

! マルチ再生ではムービー再生できません。“表示”ボタンで通常再生にしてください。

静止画に比べ、ひと回り小さく表示されます。

2

❶“▼”を押すと再生されます。
❷液晶モニターに再生時間とバーが表示されます。

! スピーカーをふさがないでください。
! 音が聞き取りにくい場合は、音量調節をしてください(➡97、99ページ)。
! 高輝度の被写体を撮影した場合、再生時に縦に白いスジが入ることがありますが故障ではありません。

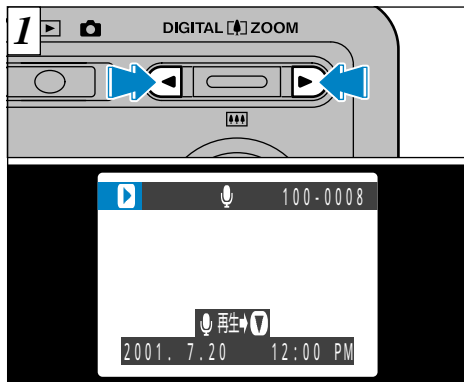
■ムービー再生操作方法

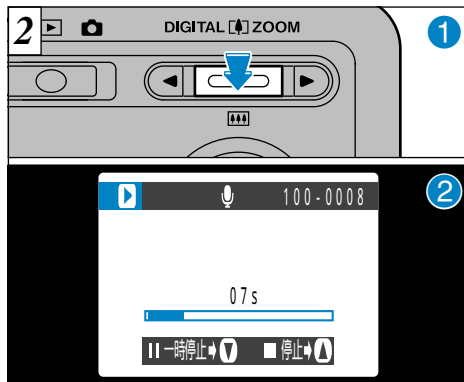
	操　　作	説　　明
再生		再生が終わると自動的に停止します。
一時停止/解除		再生中に操作すると一時停止します。 一時停止中に操作すると一時停止を解除します。
停止		再生を停止します。 ※停止中に“◀▶”を押すと、次のファイルに送られます。
早送り/巻き戻し		再生中に操作すると早送り/巻き戻しします。
コマ送り	一時停止中	●一時停止中に“◀”または“▶”を押すたびに1コマずつ送られます。 ●押し続けると速く送られます。

＊パソコンでの再生については別冊：ソフトウェア取扱ガイドをご参照ください。

◆再生できるムービーファイルについて◆

本機で記録したムービーファイル、または弊社製デジタルカメラで3.3V仕様のスマートメディアに記録した80秒以内のムービーファイルが本機で再生できます。
記録時間が80秒を超えるムービーファイルは“ ! READ ERROR ”表示し、再生することはできません。

4

ボイスメモ再生

“ ◀▶ ”でボイスメモ付き画像ファイルを選びます。

❶“ ▼ ”を押すと再生されます。
❷液晶モニターに再生時間とバーが表示されます。

! マルチ再生ではボイスメモ再生できません。“ 表示 ” ボタンで通常再生にしてください。

“ 🎤 ”のアイコンで表示されます。

! スピーカーをふさがないでください。
! 音が聞き取りにくい場合は、音量調節をしてください(➡97、99ページ)。

■ボイスメモ再生操作方法

	操　作	説　明
再生		再生が終わると自動的に停止します。
一時停止/解除		再生中に操作すると一時停止します。 一時停止中に操作すると一時停止を解除します。
停止		再生を停止します。 ※停止中に“ ◀▶ ”を押すと、次のファイルに送られます。
早送り/巻き戻し		再生中に操作すると早送り/巻き戻しします。 ※一時停止中は操作できません。

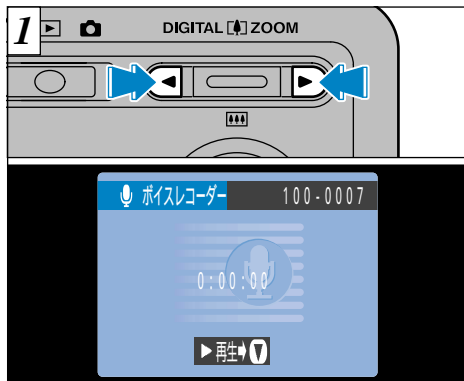
＊パソコンでの再生については別冊：ソフトウェア取扱ガイドをご参照ください。

◆再生できるボイスメモファイルについて◆

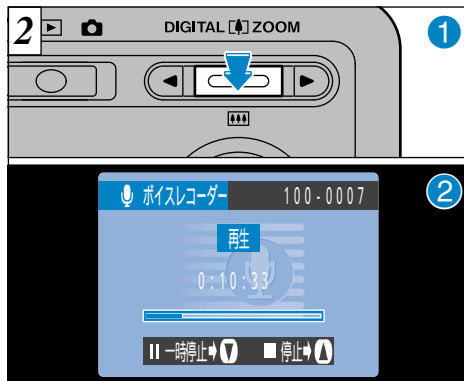
本機で記録したボイスメモファイル、または弊社製デジタルカメラで3.3V仕様のスマートメディアに記録した30秒以内のボイスメモファイルが本機で再生できます。

4

ボイスレコーダー再生

“ ◀▶ ”でボイスファイルを選びます。

❶“ ▼ ”を押すと再生されます。
❷液晶モニターに再生時間が表示されます。

! マルチ再生ではボイスレコーダー再生できません。
“ 表示 ”ボタンで通常再生にしてください。

■バッテリー作動可能時間（フル充電時）

液晶モニターON	約80分

“ 🎙 ”の画像で表示されます。

! スピーカーをふさがないでください。
! 音が聞き取りにくい場合は、音量調節をしてください（➡97、99ページ）。

■ボイスレコーダー再生操作方法

	操　作	説　明
再生		再生が終わると自動的に停止します。
一時停止/解除		再生中に操作すると一時停止します。 一時停止中に操作すると一時停止を解除します。
停止		再生を停止します。 ※停止中に“◀▶”を押すと、次のファイルに送られます。
早送り/巻き戻し		約1秒間押し続けると早送り/巻き戻しします。 短く押すと、ボイスインデックスの設定された箇所までスキップ（とばす）します。 ※ボイスインデックスが設定されていない場合はスキップ（とばす）しません。 ※一時停止中も同様に操作できます。

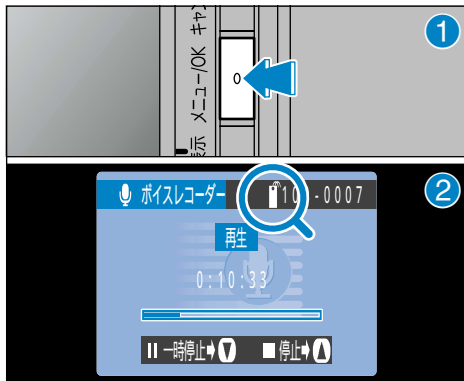
＊パソコンでの再生については別冊：ソフトウェア取扱ガイドをご参照ください。

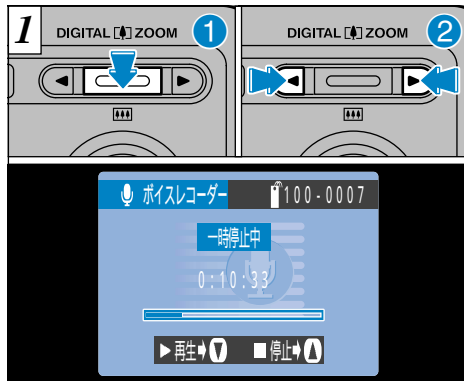
◆再生できるボイスファイルについて◆

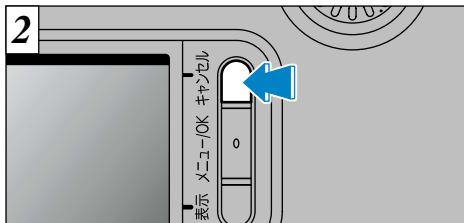
本機で記録したボイスファイル、または弊社製デジタルカメラで3.3V仕様のスマートメディアに記録したボイスファイルが本機で再生できます。

4

ボイスレコーダー再生

ボイスインデックスを設定するには

❶再生中に“ メニュー/OK ”ボタンを押すと設定され、❷画面に“ ”が表示されます。

ボイスインデックスを削除するには

❶再生中に“ ▼ ”を押して一時停止します。
❷“ ◀▶ ”を短く押して削除したいボイスインデックスまでスキップ（とばす）します。

❗ 1つのボイスファイルに秒単位に256カ所までボイスインデックスを設定できます。
❗ この機能は本機でのみ使用できる機能です。

“ キャンセル ”ボタンを押すとボイスインデックスが削除されます。

一時停止中に“ ”が表示されているときのみ削除できます。

消去 1コマ・全コマ/フォーマット

1コマ消去

選んだファイルだけを消去します。

❗ プロテクト（➡73、75ページ）したファイルは消せません。

全コマ消去

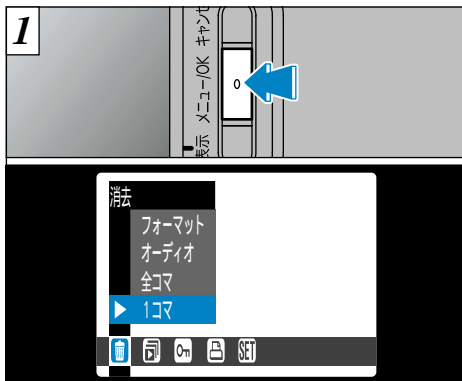
プロテクトしたファイル以外をすべて消去します。

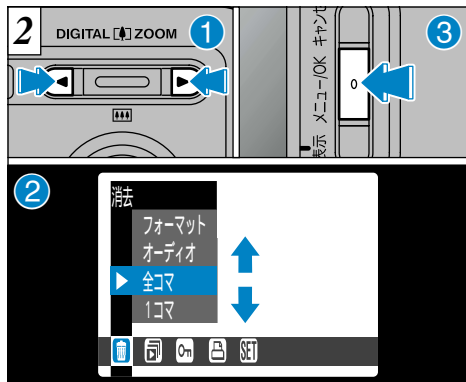
フォーマット

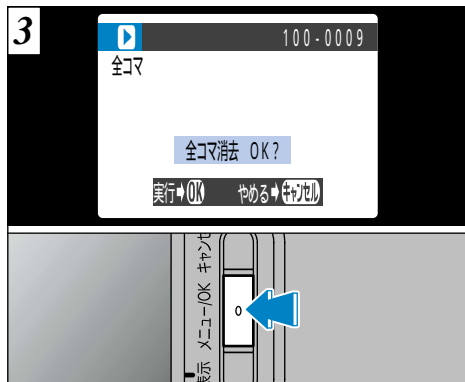
すべて消去してこのカメラ用に作り直します（スマートメディアの初期化）。

❗ プロテクトしたファイルも消えます。

“メニュー/OK”ボタンを押してメニューを表示します。

❗ “CARD ERROR”“CARD NOT INITIALIZED”“READ ERROR”“WRITE ERROR”が表示された場合は、まずスマートメディアの接触面（金色の部分）を乾いた柔らかい布などでよくふいてから、再度セットしてください。また、フォーマットが必要な場合があります。

❗ オーディオについては70〜71ページをご参照ください。

❗ メニューを終了するには“キャンセル”ボタンを押してください。

❶"◀▶"で"🗑消去"を選びます。
❷"▲▼"を押して"1コマ"か"全コマ"か"フォーマット"を選びます。
❸"メニュー/OK"ボタンを押します。

フォーマットするとすべて消去されます。

実行を確認する画面が表示されます。
"1コマ"ではファイルを"◀▶"で選んでから、"メニュー/OK"ボタンを押します。
"全コマ"か"フォーマット"を実行するには、"メニュー/OK"ボタンを押します。

! やめる場合は"キャンセル"ボタンを押してください。
! "プリント予約されています このコマを消去しますか?"が表示された場合は、プリント予約指定されています。"メニュー/OK"ボタンを押すと画像を消去します。

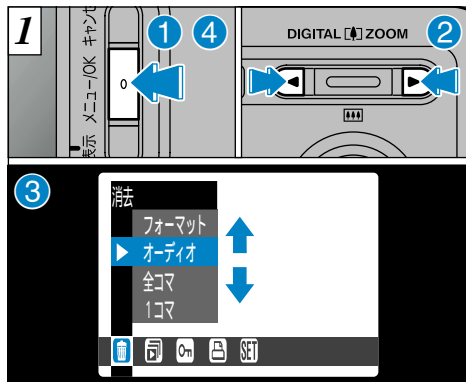
4

1曲消去

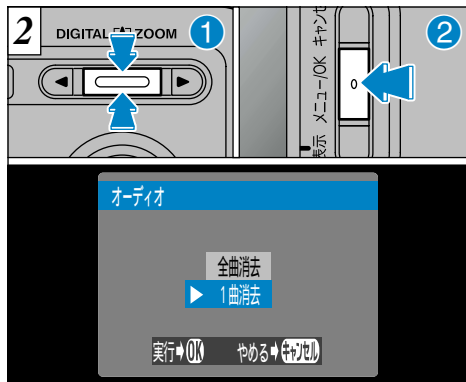
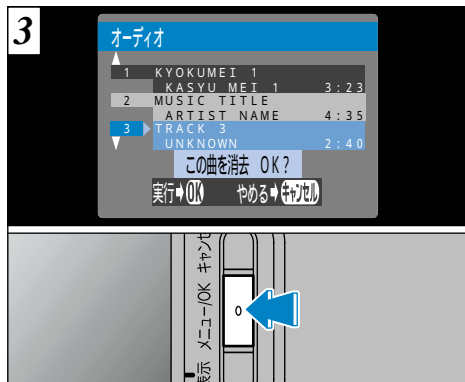
選んだ音楽だけを消去します。

全曲消去

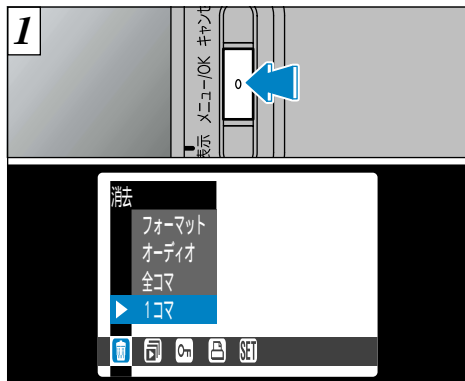
すべての音楽を消去します。

! オーディオファイルがない場合“ **消去** ”のオーディオを選べません。

1“ **メニュー/OK** ”ボタンを押してメニューを表示します。
2“ ◀▶ ”で“ **消去** ”を選びます。
3“ ▲▼ ”を押して“ **オーディオ** ”を選びます。
4“ **メニュー/OK** ”ボタンを押します。

! メニューを終了するには“ キャンセル ”ボタンを押してください。

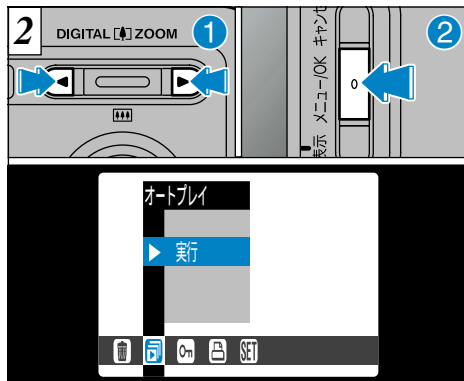
フォーマットするとすべて消去されます。

❶“ ▲▼ ”を押して“ 1曲消去 ”か“ 全曲消去 ”を選びます。
❷“ メニュー/OK ”ボタンを押します。

実行を確認する画面が表示されます。
“ 1曲消去 ”は消したい音楽を“ ▲▼ ”で選んでから、“ メニュー/OK ”ボタンを押します。
“ 全曲消去 ”を実行するには、“ メニュー/OK ”ボタンを押します。

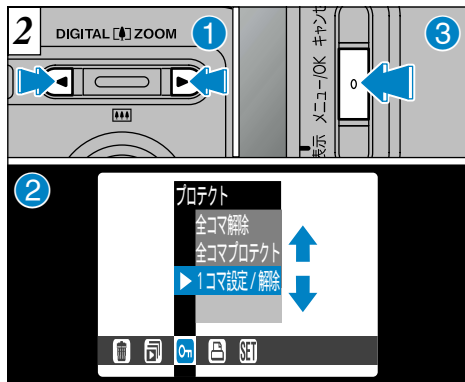
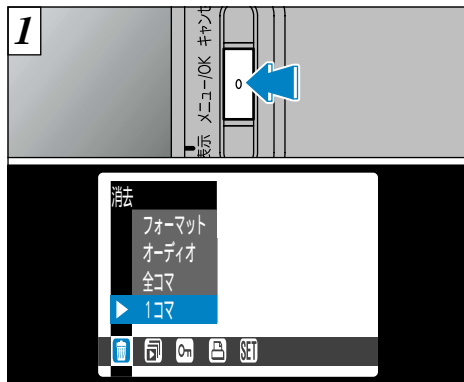
❗やめる場合は“ キャンセル ”ボタンを押してください。

再生メニュー オートプレイ（自動再生）

“ メニュー/OK ”ボタンを押してメニューを表示します。

! オートプレイ中はオートパワーオフしません。
! ムービー、ボイスメモは自動的に再生が始まります。再生が終わると次のコマに進みます。ボイスレコーダー、オーディオは再生しません。

■**バッテリー作動可能時間**（フル充電時）

連続再生	約80分

❶“ ◀▶ ”で“ オートプレイ ”を選びます。
❷“ メニュー/OK ”ボタンを押します。画像が自動的にコマ送りされて再生されます。

! “ 表示 ”ボタンを1回押すと、液晶モニターに再生コマNo.が表示されます。
! 途中でやめる場合は“ キャンセル ”ボタンを押してください。

プロテクト　1コマ設定/解除

“ メニュー/OK ”ボタンを押すとメニューが表示されます。

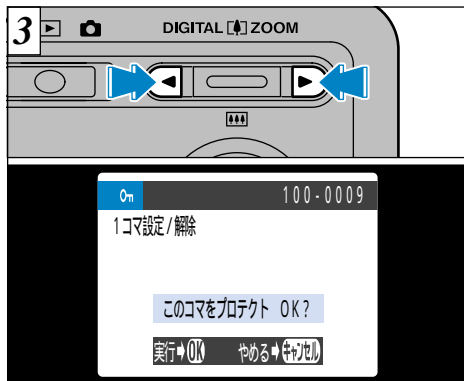
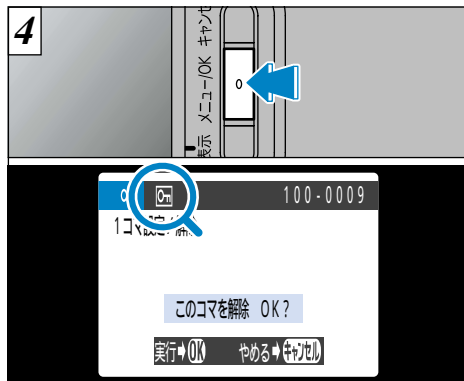
画像を選ぶときはマルチ再生（➡34ページ）すると便利です。

オーディオはプロテクトできません。

プロテクトとは、誤って消去しないように設定することです。ただし“ フォーマット ”するとすべて消去されます（➡68ページ）。

①“ ◀▶ ”で“ プロテクト ”を選びます。
②“ ▲▼ ”を押して“ 1コマ設定/解除 ”を選びます。
③“ メニュー/OK ”ボタンを押します。

4

プロテクト　1コマ設定/解除

“◀▶”でプロテクトしたいファイルを選びます。

“メニュー/OK”ボタンを押すとプロテクトされ、液晶モニターに“ ”が表示されます。
プロテクトを解除するには、もう一度“メニュー/OK”ボタンを押します。

❗ プロテクト操作を終了するには“キャンセル”ボタンを押し、メニューに戻ります。メニューを終了するにはもう一度“キャンセル”ボタンを押してください。

プロテクトを続けるには、3からの操作を繰り返します。

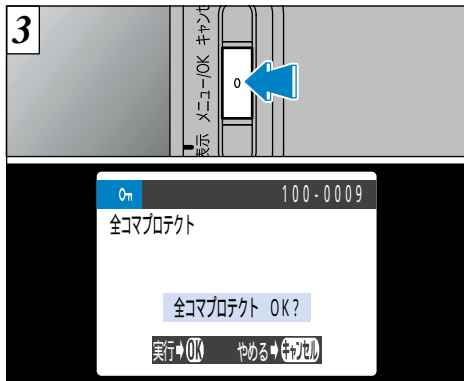
プロテクト　全コマ設定/解除

1

“メニュー/OK”ボタンを押すとメニューが表示されます。

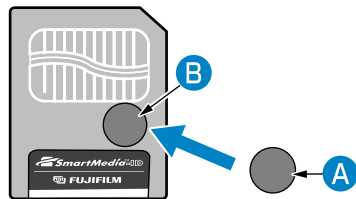
❶“◀▶”で“プロテクト”を選びます。
❷“▲▼”を押して“全コマプロテクト”か“全コマ解除”を選びます。
❸“メニュー/OK”ボタンを押します。

オーディオはプロテクトできません。

プロテクトされていても“フォーマット”するとすべて消去されます(➡68ページ)。

実行を確認する画面が表示されます。実行するなら“ メニュー/OK ”ボタンを押します。

! プロテクト操作を終了するには“ キャンセル ”ボタンを押し、メニューに戻ります。メニューを終了するにはもう一度“ キャンセル ”ボタンを押してください。

スマートメディア™の誤記録防止について

ライトプロテクトシールをはると、画像の記録/消去・フォーマットができません。シールをはがすと通常どおり使用できます。

＊必ず専用のライトプロテクトシールⒶを、ライトプロテクトエリア内Ⓑに、はみ出さないようにしっかりとはってください。はがしたシールの再利用はできません。
＊シールの端で手を切らないようにご注意ください。
＊シールが汚れていると、誤記録防止されないことがあります。

プリント予約について

DPOF（ディーポフ）とはDigital Print Order Format（デジタルプリントオーダーフォーマット）のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたいコマやその枚数などの指定情報をスマートメディア™などに記録するときの形式です。

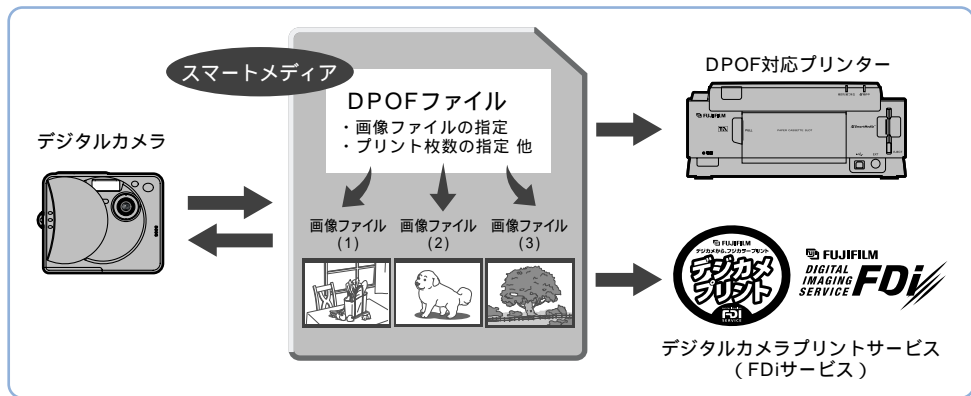
スマートメディア

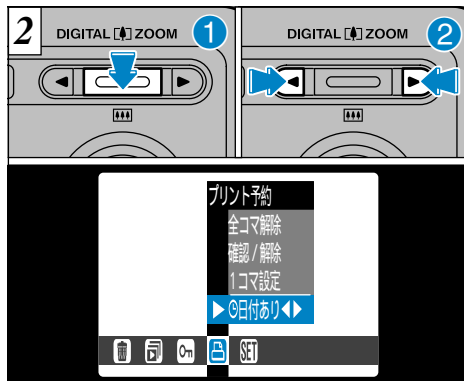
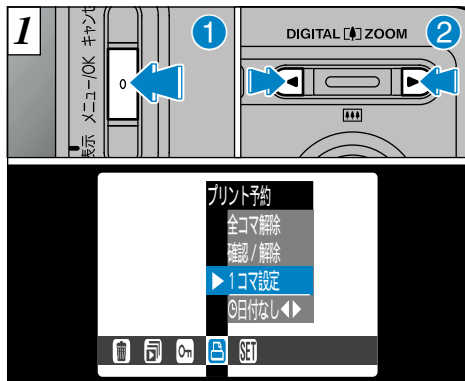
DPOFファイル
・画像ファイルの指定
・プリント枚数の指定 他

デジタルカメラ

画像ファイル（1）　画像ファイル（2）　画像ファイル（3）

DPOF対応プリンター

デジタルカメラプリントサービス（FDiサービス）

● DPOF対応デジタルカメラ（本機）では上記の情報をカメラの操作でスマートメディア™に記録することができます。
● DPOF情報を記録したスマートメディア™を、フジフイルム デジタルカメラプリントサービス（FDiサービス）取り扱い店にお持ちいただくだけで、指定情報どおりの高画質プリントサービスが受けられます。
● DPOF対応プリンターでは、DPOF情報があれば、指定コマ（画像ファイル）を指定枚数だけ自動的にプリントできます。

再生メニュー 🖶 プリント予約　日付設定

プリントに撮影した日付を入れるか入れないかを選べる機能です。

❶“ メニュー/OK ”ボタンを押してメニューを表示します。

❷“ ◀▶ ”を押して“ 🖶プリント予約 ”を選びます。

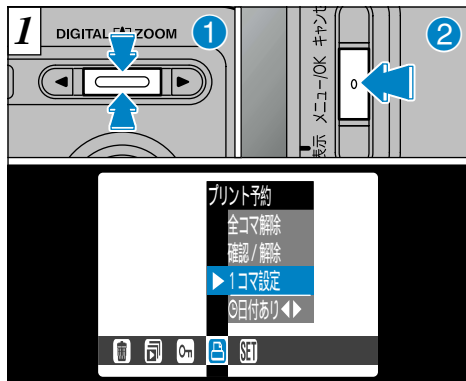
❶“ ▼ ”で“ ◷日付 ”を選びます。

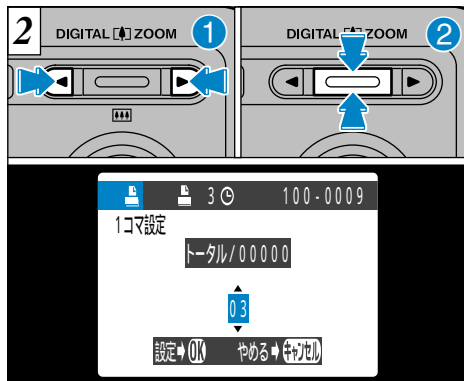
❷“ ◀▶ ”を押すと“ 日付あり ”か“ 日付なし ”が設定できます。その後、設定を変更するか電源を切るまで有効です。

❗ムービー、ボイスレコーダー再生時はプリント予約メニューは表示されません。

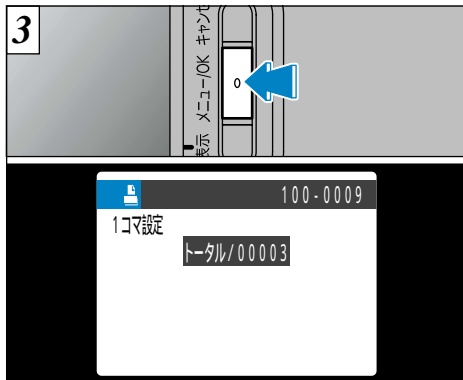
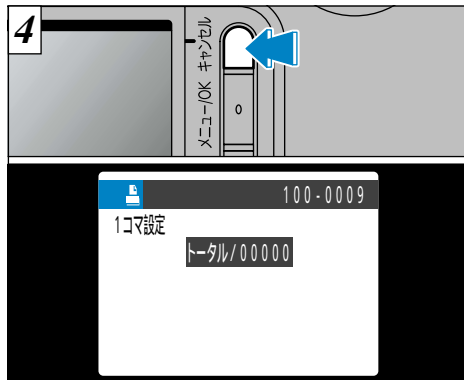
❗ムービー、ボイスレコーダーはプリント予約できません。

❗他の設定の前に必ず日付あり/なしの設定を行ってください。

プリント予約　1コマ設定

❶“ ▲▼ ”で“ 1コマ設定 ”を選びます。
❷“ メニュー/OK ”ボタンを押します。

! 1コマ設定の前に必ず日付あり/なしを設定してください。

❶“ ◀▶ ”を押して設定するコマを表示させます。
❷“ ▲▼ ”でプリント枚数を指定します。
確定したコマには“ とプリント枚数 ”、日付設定ありの場合は“ ”が表示されます。

! “ ◀▶ ”でコマを送ると自動的に設定が決定されます。

1コマ設定を続けるには、❶❷の操作を繰り返します。

〈実行する場合〉
設定が終わったら、必ず“ メニュー/OK ”ボタンを押して決定してください。液晶モニターにトータル枚数が表示され、メニューに戻ります。

〈キャンセルする場合〉
“ キャンセル ”ボタンを押すと、選択中のコマの設定のみキャンセルされます。選択中のコマ以外の設定はキャンセルされません。

指定できるプリント枚数は1コマにつき99枚までです。また、同一スマートメディア内でプリント指定できるコマ数は999コマまでです。

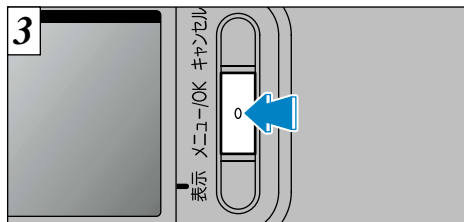
“ トータル ”は指定したプリント枚数の合計です。

プリント予約　確認/解除

❶“ ▲▼ ”で“ 確認/解除 ”を選びます。
❷“ メニュー/OK ”ボタンを押します。

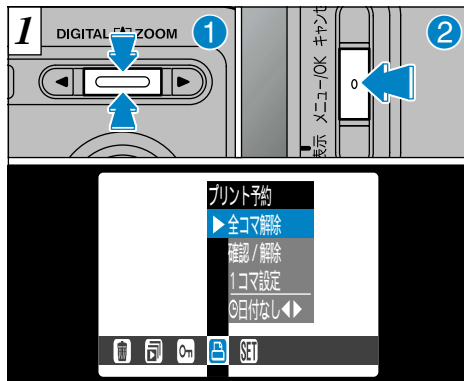
“ ◀▶ ”を押すと、プリント枚数設定をしたコマだけが再生され、各コマの設定を確認できます。

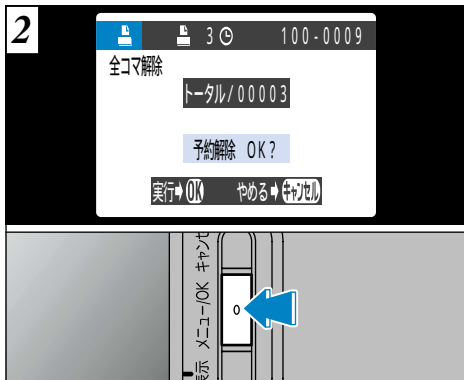
❗画像を選ぶときはマルチ再生（➡34ページ）すると便利です。

❗確認/解除をやめたい場合は“ キャンセル ”ボタンを押し、メニューに戻ります。メニューを終了するにはもう一度“ キャンセル ”ボタンを押してください。

**プリント設定を解除するには解除したい画像を表示し、“ メニュー/OK ”ボタンを押します。
プリント設定の解除が終わると次の画像が再生され“ このプリント予約を解除 OK？ ”が表示されます。**

❗すべてのプリント設定が解除されている場合“ トータル ”は“ 00000枚 ”になり、背景が青い画面になります。

❗確認/解除をやめたい場合は“ キャンセル ”ボタンを押し、メニューに戻ります。メニューを終了するにはもう一度“ キャンセル ”ボタンを押してください。

プリント設定の解除を続けるには、2からの操作を繰り返します。

①“ ▲▼ ”で“ 全コマ解除 ”を選びます。
②“ メニュー/OK ”ボタンを押します。

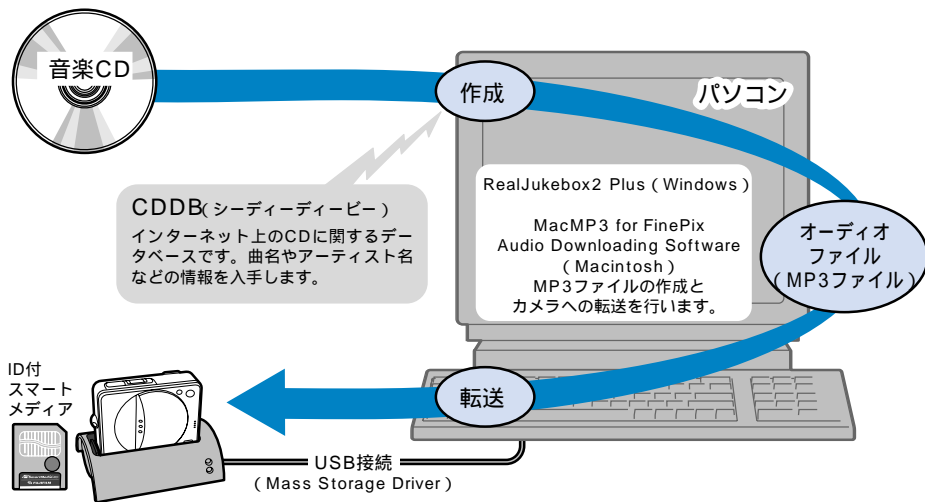
❗ムービー、ボイスレコーダー再生時はプリント予約メニューは表示されません。

実行を確認する画面が表示されます。実行するなら“ メニュー/OK ”ボタンを押します。

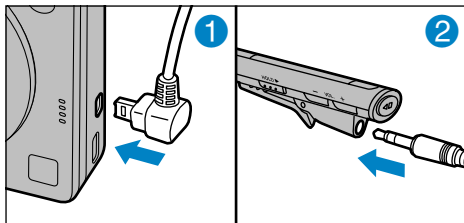
液晶モニターにトータル枚数“ 00000 ”が表示され、その後メニューに戻ります。

4

オーディオ編では

オーディオ編では、音楽を聴くためのリモコン操作と、リモコンからできる機能をご紹介します。

■イメージ図

＊MP3ファイルを暗号化して転送しています。スマートメディア内の曲を、別のスマートメディアやパソコンにコピーしても再生できません。

リモコンの接続

カメラの電源が切れていることを確認します。

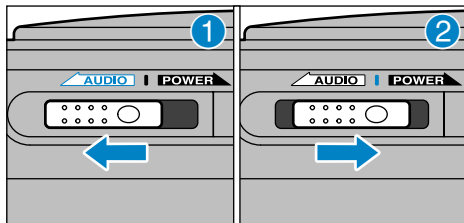
❶カメラの“ ♫ REMOTE（リモコン）”端子に、付属のリモコンを接続します。

❷リモコンにヘッドホンを接続します。

❗付属のリモコンは本機のみ操作できます。

❗付属のヘッドホンの代わりに、市販のヘッドホン（ステレオミニプラグ φ3.5mm）を使用できます。

カメラのスピーカーで音楽を聴くことはできません。必ずリモコンとヘッドホンを接続してください。

オーディオへの切り換え

❶電源スイッチを“ AUDIO ”側にスライドすると、オーディオプレーヤーとして使用できます。音楽を再生すると電源が入ります。

❷音楽を聴かないときは、電源スイッチを元の位置に戻してください。

❗電源スイッチが“ AUDIO ”になっていると、カメラとして機能しません。

◆音楽を聴くには◆

音楽（MP3ファイル）をカメラへ転送する必要があります。別冊の「ソフトウェア取扱ガイド」をご参照ください。

5

オーディオ操作

! HOLDされていると、すべての操作ができません。操作する場合はHOLDを解除してください。

! リモコンの液晶は特性上、寒冷地や低温時に表示が見えにくくなることがありますが故障ではありません。

■オーディオ再生方法

	リモコン操作	説　　明
再　生	“ ■ ▶ ”	音楽が再生されます。 ※停止後に再開すると、前回再生していた曲の始めから再生されます。 ※リモコンに マークが表示されます。
一時停止/解除	“ ■ ▶ ”	● 再生中に操作すると一時停止します。 ● リモコンに と が交互に表示されます。 ● 一時停止中に操作すると一時停止を解除します。 ※一時停止したまま約2分間放置すると自動的に電源が切れます。
停　止	“ ■ ▶ ” 押し続ける	約1秒以上押し続けると停止します。 ※停止して約5秒たつと電源が切れます。
曲送り	“ I◀◀ ”か“ ▶▶I ”	● 押すたびに曲送りします。 ● 停止中に約1秒以上押し続けると連続で曲送りします（停止してから約5秒間の間のみ可能）。 ※再生中は“ I◀◀ ”ボタンを1回押すと再生中の曲の頭出し、短く2回連続して押すと1つ前の曲の頭出しになります。
音量調節	“ ＋ ”か“ ー ”	● 押すたびに音量調節します。 ● 約1秒以上押し続けると連続で音量調節します。 ※音量調節中はバーが表示されます。

■バッテリー作動可能時間（フル充電時）

オーディオ連続再生	約4時間

❗ リモコンの液晶は特性上、寒冷地や低温時に表示が見えにくくなることがありますが故障ではありません。

■オーディオ再生方法

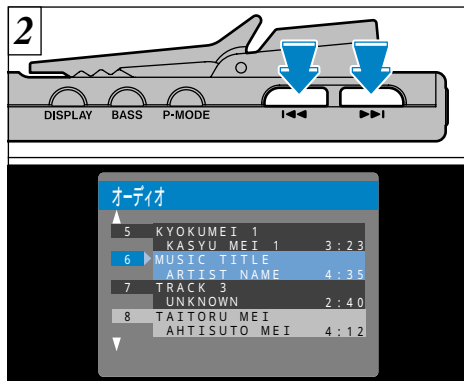
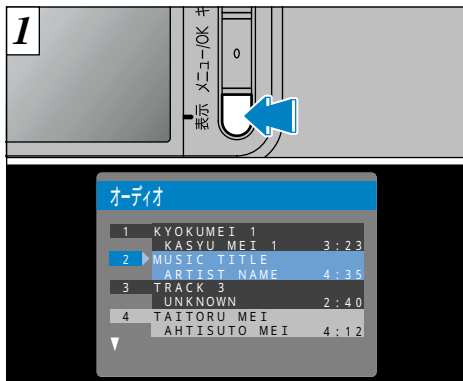
	リモコン操作	説　明
リピート演奏する	“ P-MODE ”	押すたびにノーマル→全曲リピート→1曲リピートの順に変わります。 ●ノーマル（表示なし）：すべての曲を再生後、停止します。 ●全曲リピート（⊆）：すべての曲を繰り返し再生します。 ●1曲リピート（⊆1）：表示中の曲を繰り返し再生します。
低音を強調する	“ BASS ”	押すたびにノーマル→ BASS ◢ → BASS ◢◢の順に変わります。 BASS ◢◢の方がより低音を強調します。 ＊音がひずむときは、音量を下げてください。
タイトル名/アーティスト名・演奏時間を確認する	“ DISPLAY ”	押すたびにタイトル名/アーティスト名↔演奏時間が変わります。 ＊タイトル名/アーティスト名は右側からスクロール表示されます。 例：○○○ by ○○○ ＊表示できない文字は「＿ ＿ ＿」表示されます。
誤操作を防ぐ	“ HOLD ▶ ”	▶方向にスライドするとすべての操作ができなくなり、誤操作を防げます。解除するには元に戻します。

▶オーディオについてのご注意

●**移動中の使用はしない。**
自動車などの運転をしながらヘッドホンを使用したり、リモコンの操作や表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。歩行中に使用するときにも、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

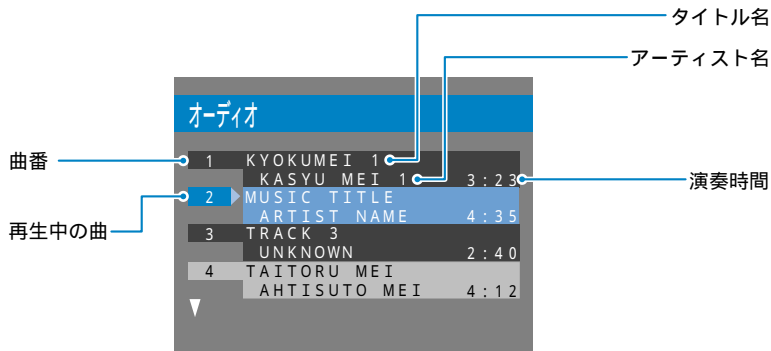
●**大音量で長時間続けて聞かない。最初から大音量にしない。**
大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪影響を与えることがあります。また、突然大きな音が出て耳を痛めることがありますので、音量は徐々に上げるようにしてください。

❗リモコンを操作したときにノイズ音が発生することがありますが、故障ではありません。
❗表示できない文字（ひらがな・カタカナ・漢字など）は「＿ ＿ ＿」で表示されます。

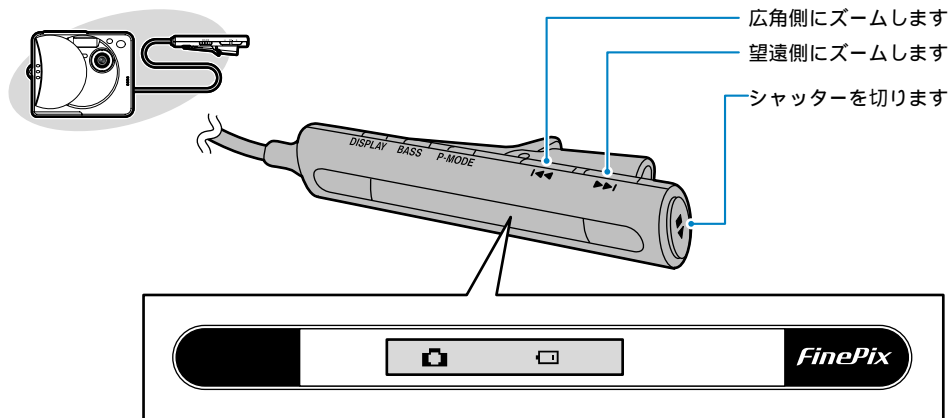
曲のリスト表示

音楽再生中にカメラの“表示”ボタンを押すと、液晶モニターにリスト表示されます。

リモコンで曲送り(“⏮”か“⏭”)すると、4曲ごとに表示が切り換わります。

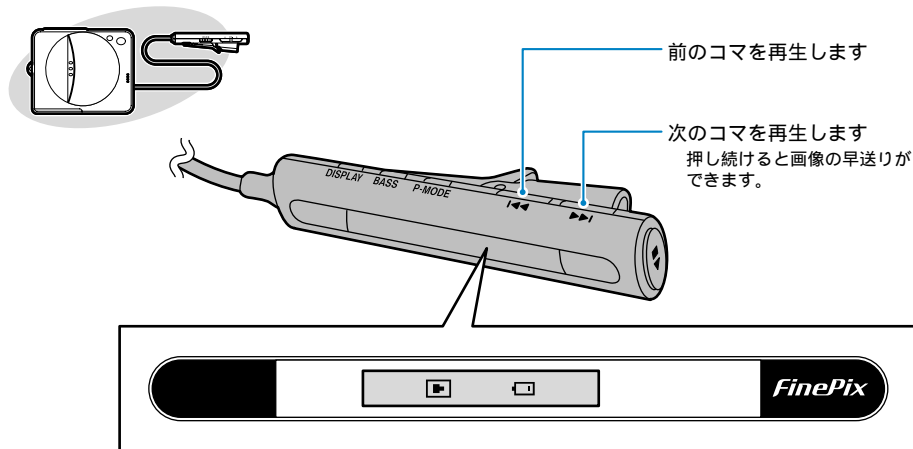
リスト表示すると4曲ずつタイトル名/アーティスト名を確認することができます。
今聴いている音楽のタイトル名/アーティスト名を確認するには、リモコンの液晶で確認できます(➡89ページ)。

! 表示してから約10秒間操作しないと、液晶モニターはOFFになります。

- タイトル名は20文字（半角英数）、アーティスト名は13文字（半角英数）まで表示されます。それ以上の場合「～」が表示されます。
- 表示できない文字（ひらがな・カタカナ・漢字など）は「＿ ＿ ＿」で表示されます。
- 再生時間が1曲100分以上の場合、「99：99」と表示されます。

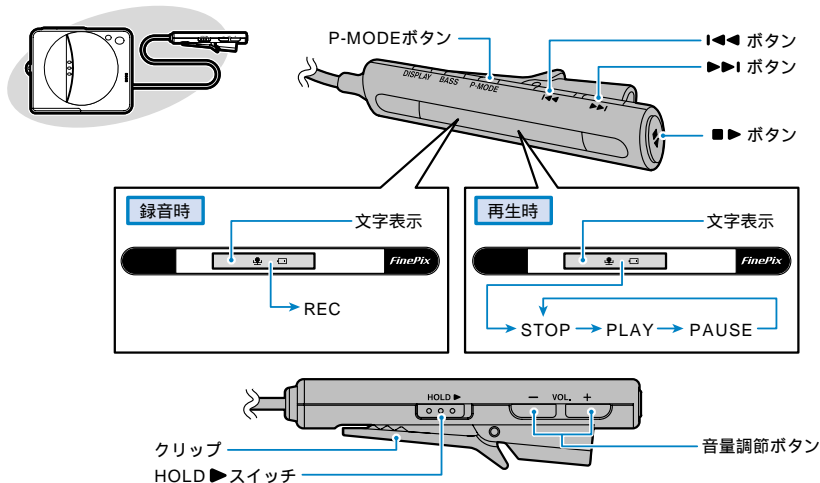
撮影でリモコンを使う

❶カメラに付属のリモコンを接続します（➡85ページ）。
❷モードスイッチを“ 📷 ”に合わせます。

- マクロ撮影や夜景の撮影時に三脚とリモコンを使用すると、手ブレを起こしにくくなります。
- ムービー（動画）撮影、ボイスメモではリモコンは使用できません。
- HOLDされていると、すべての操作ができません。操作する場合はHOLDを解除してください。
- 電源を入れたときやモード変更したときには、“ ⏮ ⏭ ”を押して液晶表示を点灯させてください。
- リモコンの液晶表示が消えているときには、初回の操作ではズームはできません。
- リモコンの液晶は特性上、寒冷地や低温時に表示が見えにくくなることがありますが故障ではありません。

再生でリモコンを使う

❶カメラに付属のリモコンを接続します(➡85ページ)。
❷モードスイッチを“ ▶ ”に合わせます。

❗ムービー(動画)再生、ボイスメモ再生ではリモコンは使用できません。
❗HOLDされていると、すべての操作ができません。操作する場合はHOLDを解除してください。
❗リモコンの液晶は特性上、寒冷地や低温時に表示が見えにくくなることがありますが故障ではありません。

ボイスレコーダーでリモコンを使う

❶カメラに付属のリモコンを接続します(➡85ページ)。
❷モードスイッチを録音時は“ 🎥/🎙 ”、再生時は“ ▶ ”に合わせます。
❸必ずレンズカバーを閉めたまま、電源スイッチで電源を入れます(➡16ページ)。

❗HOLDされていると、すべての操作ができません。操作する場合はHOLDを解除してください。
❗リモコンの液晶は特性上、寒冷地や低温時に表示が見えにくくなることがありますが故障ではありません。

■ボイスレコーダー録音操作方法

	リモコン操作	説　　明
録音する/停止する	“ ■▶ ”	シャッターボタンでの、録音/停止と同じです。
ボイスインデックスを設定する	“ P-MODE ”	押すたびにボイスインデックスが設定されます。

■ボイスレコーダー再生操作方法

	リモコン操作	説　　明
再　生	“ ■▶ ”	ボイスレコーダーが再生されます。
一時停止/解除	“ ■▶ ”	●再生中に操作すると一時停止します。 ●一時停止中に操作すると一時停止を解除します。
停　止	“ ■▶ ” 押し続ける	約1秒間押し続けると停止します。 ※停止中に“ |◀◀ ”か“ ▶▶| ”を押すと、次のファイルに送られます。
早送り/巻き戻し	“ |◀◀ ”か“ ▶▶| ” 再生中・一時停止中に押し続ける	再生中・一時停止中に約1秒以上押し続けると早送り/巻き戻しします。
ボイスインデックス呼び出し	“ |◀◀ ”か“ ▶▶| ”	短く押すとボイスインデックスの設定された箇所までスキップ（とばす）します。
ボイスインデックスを設定する	“ P-MODE ”	押すたびにボイスインデックスが設定されます。

各種設定編では

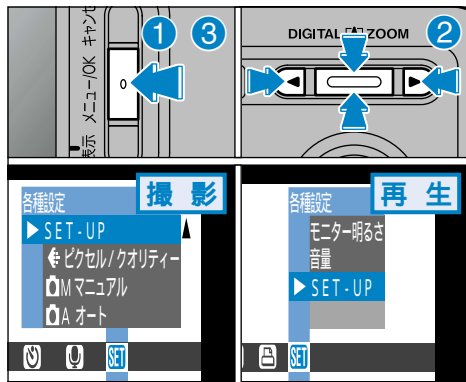
設定編では、撮影・再生モードのメニュー“ SET 各種設定 ”で行える機能をご紹介します。

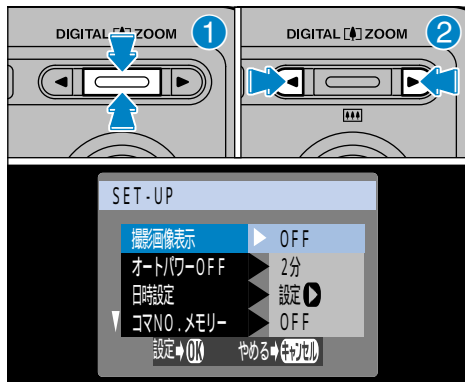
■各種設定一覧

静止画撮影時	ムービー撮影/ボイスレコーダー録音時	再生時
ピクセル/クオリティー(98ページ) SET－UP モニター明るさ(99ページ)	SET－UP モニター明るさ(99ページ)	SET－UP 音量(99ページ) モニター明るさ(99ページ)

■SET－UPメニュー一覧

項　目	表　示	工場出荷時	内　　容
撮影画像表示	OFF/ON/プレビュー	OFF	詳しくは100ページ参照。
オートパワーOFF	2分/5分/OFF	2分	何も操作をしていないときに、電源を自動的に切るかどうか設定できます。ただし、パーティーモード時、ボイスレコーダー録音中、オートプレイ時、USB接続時はオートパワーオフしません。
日時設定	設定 ▶	－	詳しくは19ページ参照。
コマNO.メモリー	ON/OFF	OFF	詳しくは102ページ参照。
ビープ♪	LOW/HIGH/OFF	LOW	操作したときの“ ピッ ”の音量を設定できます。
LCDモニター	ON/OFF	ON	モードスイッチを“ ”にしたときに、自動的に液晶モニターをONにするかOFFにするか設定できます。
オールリセット	実行 ▶	－	日時設定を除く、すべての設定(撮影、再生メニュー含む)を工場出荷設定にリセットします。

各種設定メニューの操作

❶“ メニュー/OK ”ボタンを押して、メニューを表示します。
❷“ ◀▶ ”で“ SET 各種設定 ”を選び、“ ▲▼ ”で項目を選びます。
❸“ メニュー/OK ”ボタンを押して、各設定に移行します。

SET－UPの操作

“ SET－UP ”を選んだ場合、SET－UP画面が表示されます。
❶“ ▲▼ ”で項目を選びます。
❷“ ◀▶ ”で設定を変更します。“ メニュー/OK ”ボタンを押して設定を終了します。

7

❗“ 日時設定 ” “ オールリセット ”は“ ▶ ”を押します。

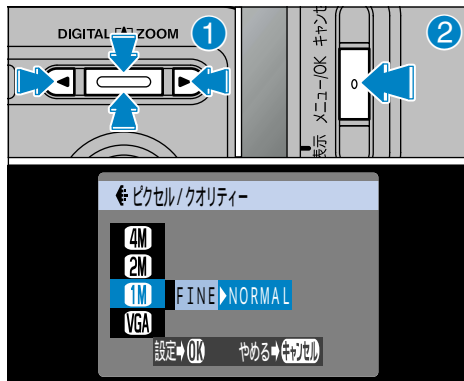
SET ピクセル（画像サイズ）/クオリティー（圧縮率）

4種類のピクセルと、3種類のクオリティーの組み合わせを選べます。下記の表を目安にお試しいただき、目的に応じた設定をしてください。

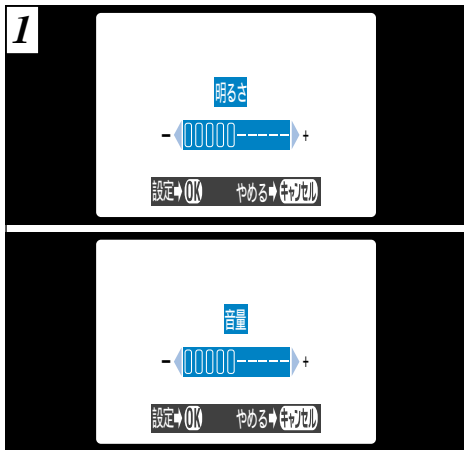
画像サイズ	FINE	NORMAL	BASIC
4M（2400×1800）	❶	❶	❷
2M（1600×1200）	❷	❷	ー
1M（1280×960）	❸	❸	ー
VGA（640×480）	ー	❹	ー

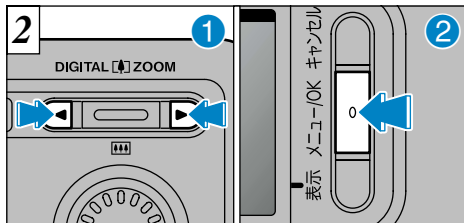
❶：A4サイズ程度でプリントする場合や、画像の一部をトリミングしてA5/A6サイズ程度でプリントする場合。
❷：A5サイズ程度でプリントする場合や、画像の一部をトリミングしてA6サイズ程度でプリントする場合。
❸：A6サイズ程度でプリントする場合。
❹：eメールの画像添付用などインターネットで使用する場合

クオリティー（圧縮率）について

画質を優先する場合は“FINE”を、枚数を優先する場合は“BASIC”を選んでください。通常は、“NORMAL”で十分な画質が得られます。

❶“▲▼”でピクセル設定を変更し、“◀▶”でクオリティー設定を変更します。
❷“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

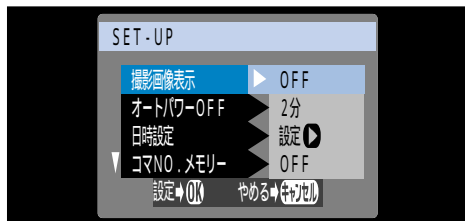
ピクセルとクオリティーの組み合わせで、撮影可能枚数が変わります（➡25ページ）。

SET モニター明るさ/音量

“ モニター明るさ ”または“ 音量 ”のメニューを実行すると、液晶モニターに“ 調節バー ”が表示されます。

! 音量はモードスイッチが再生のときに設定できます。

❶“ ◀▶ ”で液晶モニターの明るさ/スピーカーの音量を調節します。
❷“ メニュー/OK ”ボタンを押して決定します。

! 設定を変更しない場合は“ キャンセル ”ボタンを押してください。

音量設定は本体スピーカーの音量を調節できます。ヘッドホンの音量調節はリモコンで行います(オーディオ再生、ボイスレコーダー再生時)。

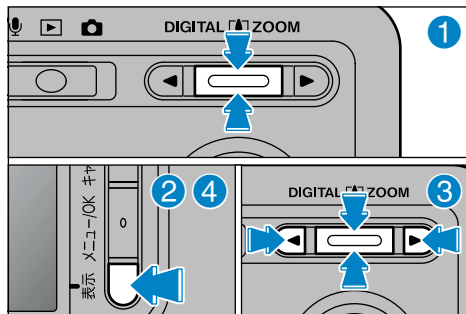
撮影画像表示

撮影後に撮影結果を表示するかしないか設定できます。

OFF　　　：撮影結果は表示されず、自動的に記録されます。

ON　　　：撮影結果が約2秒間表示され、自動的に記録されます。

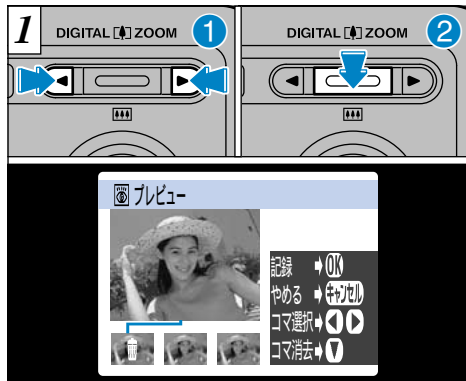
プレビュー：撮影結果が表示され、記録するかどうか選べます。
また、プレビューズームや記録画像の選択が可能です。
●記録する場合" メニュー/OK "
●記録しない場合" キャンセル "

! 連写では" OFF "に設定しても一定時間表示され、自動的に記録されます。

プレビューズーム

プレビュー設定のとき、画像を拡大して細部の確認ができます。

1" ▲▼ "でズームします。
2" 表示 "ボタンを押します。
3" ▲▼◀▶ "を押すと、見える範囲を移動できます。
4もう一度" 表示 "ボタンを押すとズームに戻ります。

! プレビューではトリミング保存はできません。
! 再生ズーム（➡32ページ）と操作は同じです。

記録画像の選択

プレビュー設定のとき、連写では画像を選んで記録できます。
❶“ ◀▶ ”で記録しない画像を選びます。
❷“ ▼ ”で“ 🗑 ”マークが表示/非表示されます。
“ 🗑 ”マークを表示した画像は記録されません。

“ メニュー/OK ”ボタンを押して画像を記録します。

! 連写ではプレビューズームはできません。

7

SET−UP コマNO.メモリー

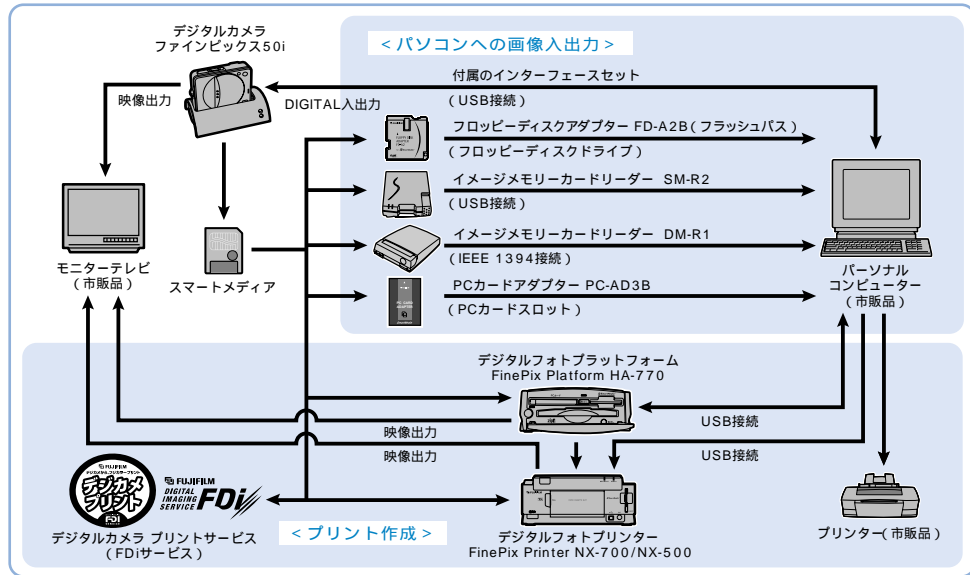
OFF：スマートメディアごとに「ファイルNo.0001」から撮影
ON ：最後に使用したスマートメディアの「最終ファイルNo.」から続けて撮影

“ ON ”にすると、パソコンなどに画像を取り込んだときにファイル名が重複しないので、ファイルの管理に便利です。

画像を再生するとファイルNo.を確認できます。液晶モニターの右上の7けたの数字のうち下4けたがファイルNo.で、上3けたはフォルダーNo.です。

- ❗ 記憶した「最終ファイルNo.」より、大きいファイルNo.の画像がスマートメディアにあった場合、大きいファイルNo.の続きから撮影されます。
- ❗ スマートメディアを交換するときは、必ず電源を切ってからバッテリーカバーを開けてください。電源を切らずにバッテリーカバーを開けると、コマNO.メモリーが機能しません。
- ❗ ファイルNo.は0001から9999までで、それを超えるとフォルダーNo.が1つ繰り上がります。最大で999−9999までカウントされます。
- ❗ コマNO.メモリーを“ OFF ”にすると、記憶した「最終ファイルNo.」がリセットされます。
- ❗ 他のカメラで撮影した画像は、コマNo.表示が異なる場合があります。
- ❗ “ オールリセット ”すると「最終ファイルNo.」がリセットされます。

システムアップ機器（別売）（平成13年6月現在）

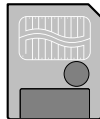
▶別売のフジフイルム製品と組み合わせることにより、様々な用途向けにシステムアップすることができます。

その他 別売アクセサリーの紹介 (平成13年6月現在)

▶使いかたについては、お使いになるアクセサリーの「使用説明書」をご覧ください。
※価格はメーカー希望小売価格、消費税別です。

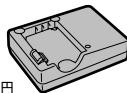
●イメージメモリーカード (スマートメディア™)

以下の種類がお使いいただけます (オーディオ機能を使用するにはID付きスマートメディアが必要です)。

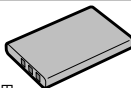
- ●MG-4SB ： 4MB、3.3V仕様
- ●MG-8SB ： 8MB、3.3V仕様
- ●MG-16SB ：16MB、3.3V仕様
- ●MG-32SB ：32MB、3.3V仕様
- ●MG-16SW ： 16MB、3.3V仕様 (ID付き)
- ●MG-32SW ： 32MB、3.3V仕様 (ID付き)
- ●MG-64SW ： 64MB、3.3V仕様 (ID付き)
- ●MG-128SW ：128MB、3.3V仕様 (ID付き)

＊3.3V仕様品の中には「3V」という表示のものがあります。

すべてオープン価格

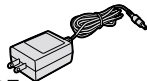
●バッテリーチャージャー BC-60

充電式バッテリーを短時間で充電します。充電時間は約2時間です (NP-60充電時)。
(AC100V〜240V、50/60Hz対応)

※6,800円

●充電式バッテリー NP-60

リチウムイオンタイプの薄型充電式電池です。
(3.7V、900mAh)

※5,000円

●ACパワーアダプター AC-5VH

長時間の撮影時、パソコンとの接続時にお使いください。
(AC100〜240V、50/60Hz対応)

※4,000円

●ソフトケース SC-FX50

牛革製の専用ケースです。カメラを持ち運ぶときに、ゴミやほこり、軽い衝撃からカメラを保護します。

※3,500円

●フロッピーディスクアダプター FD-A2B（FlashPath：フラッシュパス） オーディオファイルは扱えません。

通常の3.5インチのフロッピーディスクと同じ形をしたアダプターです。
スマートメディアをフロッピーディスクアダプターに挿入し、フロッピーディスクドライブからスマートメディアの画像をパソコンに取り込むことができます。

●フロッピーディスクアダプター FD-A2対応OS
Windows 95/98/98 Second Edition/Me（DOS/V機）
Windows 95 4.00.950B OSR2以降/98（NEC PC-9821シリーズ）
Mac OS7.6.1～9.1/Power Macintosh（読み込みのみ）

※12,000円

●デジタルフォトプラットフォームHA-770 オーディオファイルは扱えません。

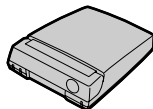
スマートメディア、PCカード、Zip 3スロットを装備し、デジタルカメラ画像のアルバム編集、再生機能搭載。パソコン*、テレビ、プリンターに対応したマルチインターフェース。
＊パソコン接続はUSBインターフェース（対応OS：Windows98（Second Editionを含む）/ Windows Me/Windows 2000 Professional、MacOS8.5.1～9.0.4）

※49,800円

●イメージメモリーカードリーダー DM-R1 オーディオファイルは扱えません。

イメージメモリーカード［スマートメディア、コンパクトフラッシュタイプ Ⅱ（マイクロドライブ対応）］からパソコンに、簡単に画像の読み出し、書き込みができます。
IEEE1394インターフェースにより高速なファイル転送を行います。

●Windows98 Second Edition、Windows 2000 Professional（読み出し専用）、
iMac DV、およびFireWireを標準装備するPower Macintosh、Mac OS8.5.1～9.0

オープン価格

●PCカードアダプター PC-AD3B オーディオファイルは扱えません。

スマートメディアをPC Card Standard ATA（PCMCIA2.1/JEIDA4.2）に準拠したPCカード（TYPE Ⅱ）として使えます。

※10,000円

パソコンでムービー再生をするには、QuickTime3.0以降のソフトウェアまたはDirectX8.0ランタイム（Windowsの場合）が必要です。また、ムービーファイルをハードディスクにコピーしてから再生してください。

使用上のご注意

▶ご使用の前に、必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくご使用ください。

■避けて欲しい場所

次のような場所での本機の使用および保管は避けてください。

- ●湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- ●直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ。極端に寒いところ
- ●振動の激しいところ
- ●油煙や湯気の当たるところ
- ●強い磁場の発生するところ（モーター、トランス、磁石のそばなど）
- ●防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■砂がかからないようにしてください。

砂は本機の大敵です。海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因となるばかりか、修理できなくなることもあります。

■結露（つゆつき）にご注意

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本機内外部やレンズなどに水滴（結露）がつくことがあります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、スマートメディアに水滴がつくことがあります。このようなときはスマートメディアを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■長時間お使いにならないときは

本機を長時間お使いにならないときは、バッテリー、スマートメディアを取り外して保管してください。

■カメラのお手入れ

- ●レンズ、液晶モニター表面やファインダーなどの汚れはブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。それでも取れないときは、フジフイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽くふいてください。
- ●レンズ、液晶モニター表面やファインダーなどは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- ●カメラ本体は、乾いた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質・変形したり、塗料がはげるなどの原因となります。

■海外で使うとき

- ●このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- ●海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因となることがあります。

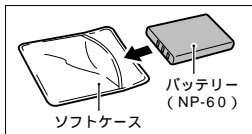
電源についてのご注意

バッテリー NP-60についてのご注意

このカメラは、充電式リチウムイオンバッテリーNP-60を使用しています。ご使用に際しては、以下の点にご注意ください。特に別冊の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

＊NP-60は出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

●NP-60を持ち運ぶときは、カメラに取り付けるか、付属の専用ソフトケースに入れてください。

●NP-60を保管するときは、付属の専用ソフトケースに入れて保管してください。

■バッテリーの特性

●NP-60は使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1～2日前）に充電したNP-60を用意してください。

●NP-60を長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。

●寒冷地や低温時では撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備NP-60をご用意ください。また、使用時間を長くするために、NP-60をポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロをお使いになる場合は、直接NP-60に触れないようにご注意ください。低温時に消耗したNP-60を使用すると、カメラが作動しない場合があります。

■充電について

●ACパワーアダプター AC5V（付属または別売）を使用して、クレードル装着にて充電できます。
- 充電は周囲の温度が0℃～＋40℃の範囲で可能です。使い切ったNP-60の＋23℃での充電時間は約5時間です。
- 充電は＋10℃～＋35℃の温度範囲で行ってください。＋10℃～＋35℃の温度範囲外で充電する場合、NP-60の性能を劣化させないために充電時間が長くなることがあります。
- 0℃以下の温度では充電できません。

●別売のバッテリーチャージャー BC-60を使用して充電ができます。
- 充電は周囲の温度が0℃～＋40℃の範囲で可能です。使い切ったNP-60の＋23℃での充電時間は約2時間です。
- 充電は＋10℃～＋35℃の温度範囲で行ってください。＋10℃～＋35℃の温度範囲外で充電する場合、NP-60の性能を劣化させないために充電時間が長くなることがあります。

●NP-60は充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。

●充電が終わったあとや使用直後に、NP-60が熱を持つことがありますが、異常ではありません。

●充電が完了したNP-60を再充電しないでください。

■バッテリーの寿命について

常温で使用した場合、約300回繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、NP-60の寿命です。新しいNP-60をお買い求めください。

電源についてのご注意

保存上のご注意

リチウムイオンバッテリー NP-60は小形で高容量のバッテリーですが、充電された状態で長期間保存すると特性が劣化することがあります。

- しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリーチャージャーから取り外してください。
- 専用ソフトケースに入れて、涼しいところで保存してください。
  - 周囲の温度が＋15℃〜＋25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。
  - 暑いところや極端に寒いところは避けてください。

危険ですので、次のことにご注意ください

⚠バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようにしてください。
⚠火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。
⚠分解したり、改造したりしないでください。

壊れたり、寿命が短くなったりしますので、次のことにご注意ください

- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 水にぬらさないようご注意ください。

バッテリーの特性に合わせて上手にお使いいただくために、次のことにご注意ください

- 端子は常にきれいにしておいてください。
- 温度が上がらない、乾燥した場所に保管してください。長期間高温の場所に置いておくと寿命が短くなります。

長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。長時間の撮影、再生にはACパワーアダプターをお使いください。

■小形充電式電池のリサイクルについて

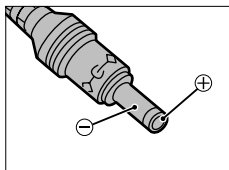
このマークは小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーなど）のリサイクルマークです。小形充電式電池は埋蔵量の少ない高価な希少資源を使用していますが、これらの金属はリサイクルして再利用できます。

このようにリサイクルすることは、ゴミを減らし、環境を守ることにつながります。ご使用済みの小形充電式電池の廃棄に際しては、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープをはって、小形充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

NP-60の主な仕様

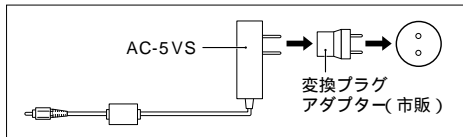
公称電圧	3.7V
公称容量	900mAh
使用温度	0℃〜＋40℃
本体外形寸法	35.2mm×53mm×7.0mm
質量	約30g

＊仕様・性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

ACパワーアダプターについてのご注意

必ず専用のACパワーアダプター AC-5V（EIAJ規格・極性統一形プラグ付き）をお使いください。弊社専用品以外のACパワーアダプターをお使いになると故障の原因となることがあります。

- 室内専用です。
- クレードルのDC入力端子へ、接続コードのプラグをしっかり差し込んでください。
- クレードルのDC入力端子から接続コードを抜くときは、カメラの電源スイッチを切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください）。
- 本機は、指定の機器以外には使用しないでください。
- 使用中、本機が熱くなるときがありますが故障ではありません。
- 分解したりしないでください。危険です。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- 内部で発信音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

海外へお持ちになる方へ

本体にある定格表示が、AC100V～240V、50/60Hzと表示されているACパワーアダプターは、世界中のほとんどのホテルおよび家庭用電源で使用できます。ただし、電源コンセントの形状は各国、各地様々ですので、お出かけ前には旅行代理店などでお確かめください。

本機を海外旅行者用として市販されている「電子式変圧器」などに接続しますと、故障することがありますので、ご使用にならないでください。

AC-5VSの主な仕様

電源	AC100V～240V、 50/60Hz
定格入力容量	16VA～20VA（入力100V～240V、定格出力時）
定格出力	DC 5V、1.5A
使用温度	0℃～＋40℃
保存温度	－10℃～＋70℃
最大外形寸法	47mm×20mm×72mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約120ｇ
接続コード長さ	約2m

＊仕様・性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

スマートメディアTMについてのご注意

■スマートメディアについて

デジタルカメラ用に開発された、新しい画像記録媒体SmartMedia（スマートメディア）です。スマートメディアの中には、半導体メモリー（NAND型フラッシュメモリー）が内蔵されており、このメモリーにデジタル化された画像ファイルが記録されます。
記録は電気的に行われますので、一度記録した画像ファイルを消去したり、再び記録することができます。

■ID付きスマートメディアについて

SmartMedia ID（ID付きSmartMedia）は、スマートメディア個々に（ID）番号を割り振ったもので、IDを利用した著作権保護、その他の仕組みを持つ機器で使用できます。本機では、従来のスマートメディアと同様に使用できます。

■ファイル保持について

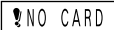
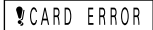
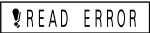
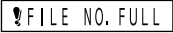
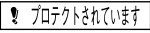
以下の場合、記録したファイルが消滅（破壊）することがあります。記録したファイルの消滅（破壊）については、弊社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

＊お客様または第三者がスマートメディアの使いかたを誤ったとき
＊スマートメディアが静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき
＊スマートメディアに記録動作中・消去（フォーマット）動作中にスマートメディアを取り出したり機器の電源を切ったとき

大切なファイルは別のメディア（MOディスク、フロッピーディスク、ハードディスクなど）にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。

■取扱上のご注意

- スマートメディアをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- スマートメディアの記録中・消去（フォーマット）中は、絶対にスマートメディアを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。スマートメディアが破壊されることがあります。
- 指定された以外のスマートメディアはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因となります。
- スマートメディアは精密電子機器です。曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしないでください。
- 強い静電気・電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用・保管は避けてください。
- 高温多湿の場所、または腐食性のある環境下でのご使用・保管は避けてください。
- スマートメディアの接触面（金色の部分）にゴミや異物がつかないように、また触らないようにご注意ください。汚れは乾いた柔らかい布などでふいてください。
- スマートメディアの持ち運びや保管時は、静電気に

よる影響を避けるため、必ず専用の静電気防止ケースに入れてください。また、収納ケースがある場合は収納ケースに入れてください。
- 静電気を帯びたスマートメディアをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間お使いになったあと、取り出したスマートメディアが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- スマートメディアには寿命があり、長期間使用するうちに書き込みや消去ができなくなります。このときは新しいものをお買い求めください。
- インデックスエリアには、付属のインデックスラベルをはってください。市販のラベルなどは、はらないでください。スマートメディアの出し入れの際、故障の原因になります。
- インデックスラベルは、ライトプロテクトエリアにかからないように、はってください。
- 万一、弊社の製造上の原因による初期品質不良がありました場合には、同数の新しいスマートメディアとお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

■スマートメディアをパソコンで使用する場合のご注意
- パソコンで使用したあとのスマートメディアを使って撮影する場合、スマートメディアのフォーマットはカメラで行ってください。
- スマートメディアをカメラでフォーマットして撮影・記録すると、自動的にフォルダーが作成されます。画像ファイルは、このフォルダー内に記録されます。
- パソコンでスマートメディアのフォルダー名、ファイル名の変更・消去などの操作を行わないでください。スマートメディアがカメラで使用できなくなることがあります。
- スマートメディア上の画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- 画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーし、コピーした画像ファイルを編集してください。

主な仕様

形式	デジタルカメラ用イメージメモリーカード SmartMedia（スマートメディア）
動作電圧	3.3V
使用条件	温度 0℃～＋40℃ 湿度 80％以下（結露しないこと）
外形寸法	37mm×45mm×0.76mm（幅/高さ/厚み）

警告表示

▶オーディオモード時は液晶モニターには表示されません。

警告表示		警告内容	処　　置
液晶モニター	リモコン表示		
（赤点灯）		カメラのバッテリーの容量が少ない。	バッテリーを交換するか、充電してください。
!NO CARD	!CARD	スマートメディアが入っていない、または入れている向きが間違っている。	スマートメディア（3.3V仕様）を正しい向きにセットしてください。
!CARD NOT INITIALIZED	!ERROR	●スマートメディアがフォーマット（初期化）されていない。 ●スマートメディアの接触面（金色の部分）が汚れている。 ●カメラが故障している。	●スマートメディアをフォーマットしてください。 ●スマートメディアの接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。 ●弊社サービスステーションにお問い合わせください。
!CARD ERROR	!ERROR	●スマートメディアの接触面（金色の部分）が汚れている。 ●スマートメディアが壊れている。 ●スマートメディアのフォーマットが異常。 ●カメラが故障している。	スマートメディアの接触面を、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでもERRORの場合はスマートメディアを交換してください。 ●弊社サービスステーションにお問い合わせください。
!CARD FULL	!FULL	スマートメディアに空き容量がなく、これ以上記録できない。	画像を消去するか、空き容量のあるスマートメディアを使用してください。
!PROTECTED CARD	!CARD	スマートメディアが誤記録防止状態になっている。	誤記録防止状態になっていないスマートメディアを使用してください。

警告表示		警告内容	処　置
液晶モニター	リモコン表示		
!READ ERROR	!ERROR	●正常に記録されていないファイルを再生した。 ●スマートメディアの接触面（金色の部分）が汚れている。 ●カメラが故障している。	●再生することはできません。 ●スマートメディアの接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。 ●弊社サービスステーションにお問い合わせください。
!FILE NO. FULL	!FULL	コマNo.が999―9999に達している。	コマNO.メモリー機能をOFFにして、フォーマットしたスマートメディアに撮影してください。
! WRITE ERROR	!ERROR	●スマートメディアと本体の接触異常またはスマートメディアの異常のため記録できない。 ●撮影した画像がスマートメディアの空き容量を超えて記録できない。	●スマートメディアを入れ直すか電源のON/OFFを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションにお問い合わせください。 ●新しいスマートメディアを使用してください。
! ERROR	!ERROR	●ボイスメモファイルが異常。 ●カメラが故障している。	●ボイスメモを再生することはできません。 ●弊社サービスステーションにお問い合わせください。
	――	シャッター速度が遅く、手ブレを発生しやすい状態。	ストロボ撮影する。ただし撮影シーンやモードによっては、三脚を使用してください。
! プロテクトされています	――	プロテクトされているコマを消去しようとした。	プロテクトを解除して、消去してください。

警告表示

警告表示		警告内容	処　置
液晶モニター	リモコン表示		
! AE	——	AE連動範囲外。	適正露出ではありませんが、撮影できます。
! AF	——	AF（オートフォーカス）がうまく働かない。	● 暗い場合は被写体から2m程度離れて撮影してください。 ● AFロック撮影をしてください。
プリント予約されています このコマを消去しますか？ プリント予約されています 全コマ消去しますか？	——	消去しようとした画像はプリント予約されている。	そのコマが不要な場合はそのまま消去してください。そのコマが必要な場合は、“キャンセル”ボタンを押して消去を中止してください。
プリント予約再設定OK？	——	DPOFファイルにエラーがある。または、他の機器で設定したDPOFファイルである。	DPOFファイルを新しく作成し、DPOF設定をすべてやり直す場合は“メニュー/OK”ボタンを押してください。
!DPOF FILE ERROR	!ERROR	DPOFのコマ設定で1000コマ以上のプリント指定をした。	同一スマートメディア内でプリント指定できるコマ数は999コマまでです。別のスマートメディアにプリント予約したい画像をコピーして、プリント予約してください。
!FOCUS ERROR	!ERROR	カメラが誤作動または故障している。	● レンズ部に触らないようにして、電源を入れ直してください。 ● 電源のON/OFFを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションにお問い合わせください。

警告表示		警告内容	処　　置
液晶モニター	リモコン表示		
! LENS COVER	!ERROR	● レンズカバーが閉まっている。 ● レンズカバーに異常。	● レンズカバーの開閉を繰り返してください。 ● 電源のON/OFFを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションにお問い合わせください。
!INDEX FULL	!INDEX	● ボイスインデックスを256を超えて指定した。 ● ボイスインデックスに未対応のカメラで録音したファイルに、ボイスインデックスを設定した。	● 不要なボイスインデックスを削除し、指定し直してください。またはボイスインデックスなしでボイスレコーディングを継続してください。 ● 設定できません。ボイスインデックスに対応したカメラで録音してください。
――	-----	オーディオファイルがない。	オーディオ再生できません。オーディオファイルをダウンロードしてください。
――	!ID	他のスマートメディアにダウンロードしたオーディオファイルである。	新しいスマートメディアを本機に入れて、オーディオファイルを記録してください。

故障とお考えになる前に

▶故障と思う前に、もう一度お調べください。

症　状	原　因	処　置
電源が入らない。	●バッテリーが消耗している。 ●ACパワーアダプターの電源プラグがコンセントから外れている。 ●カメラとクレードルが正しく接続されていない。	●充電済みのバッテリーと交換する。 ●電源プラグをコンセントに差し込む。 ●正しく接続する。
電源が途中で切れる。	●バッテリーが消耗している。	●充電済みのバッテリーと交換する。
バッテリーの消耗が早い。	●温度が極端に低いところで使っている。 ●端子が汚れている。 ●バッテリーの寿命。	●バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付ける。 ●バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布でふく。 ●充電済みの新しいバッテリーと交換する。
シャッターボタンを押しても撮影できない。	●スマートメディアが入っていない。 ●スマートメディアに空き容量がなく、これ以上記録できない。 ●スマートメディアが誤記録防止状態になっている。 ●スマートメディアがフォーマットされていない。 ●スマートメディアの接触面（金色の部分）が汚れている。	●スマートメディアを入れる。 ●新しいスマートメディアを入れるか、不要なコマを消去する。 ●誤記録防止状態を解除する。 ●フォーマットする。 ●スマートメディアの接触面を乾いたきれいな布でふく。

症　　状	原　　因	処　　置
シャッターボタンを押しても撮影できない。	● スマートメディアが壊れている。 ● オートパワーオフになり、電源が切れた。 ● バッテリーが消耗している。	● 新しいスマートメディアを入れる。 ● 電源を入れる。 ● 充電済みのバッテリーと交換する。
ストロボ撮影ができない。	● モードスイッチの設定位置がずれている。 ● ストロボ発光禁止になっている。 ● ストロボ充電中にシャッターボタンを押した。 ● バッテリーが消耗している。	● モードスイッチを正しい位置に設定する。 ● ストロボをオート、赤目軽減または強制発光にする（ストロボ撮影できないモードがある）。 ● 充電が完了してからシャッターボタンを押す。 ● 充電済みのバッテリーと交換する。
ストロボが発光したのに撮影した画像が暗い。	● 被写体が遠い。 ● ストロボ/ストロボ調光センサーに指がかかっている。	● 被写体に近づく。 ● カメラを正しく構える。
画像がぼやけている。	● レンズが汚れている。 ● マクロで遠景を撮影した。 ● 暗い被写体を撮影した。 ● オートフォーカスの苦手な被写体を撮影した。	● レンズを清掃する。 ● マクロを解除する。 ● 被写体から2m程度離れて撮影する。 ● AF/AEロック撮影する。
画像に点状のノイズがある。	● 気温が高い環境でスローシヤッター（長時間露光）撮影した。	● CCDの特性によるもので故障ではありません。
スマートメディアのフォーマットができない。	● スマートメディアが誤記録防止状態になっている。	● 誤記録防止状態を解除する（ライトプロテクトシールをはがす）。

故障とお考えになる前に

症　　状	原　　因	処　　置
全コマの消去で、すべてのコマが消せない。	● コマがプロテクトされている。	● プロテクトを解除して、再度全コマ消去する。または解除しないままフォーマットする。
カメラのスイッチを操作しても作動しない。	● カメラの誤作動。 ● モードスイッチの設定位置がずれている。 ● バッテリーが消耗している。	● 電源（バッテリー）をいったん取り外して、再び取り付け直してから操作する。 ● モードスイッチを正しい位置に設定する。 ● 充電済みのバッテリーと交換する。
“ 表示 ”ボタンを操作しても液晶モニターに画像が表示されない。	● モードスイッチの設定位置がずれている。	● モードスイッチを正しい位置に設定する。
カメラから音が出ない。	● カメラの音量設定が小さくなっている。 ● 撮影/録音中にマイクをふさいでいる。 ● A/Vケーブルを接続している。	● 音量を調節する。 ● 撮影/録音時はマイクをふさがない。 ● A/Vケーブルを外す。
テレビに画像が出ない。	● カメラとテレビの接続が間違っている。 ● テレビの入力が「テレビ」になっている。	● 正しく接続する。 ● テレビの入力を「ビデオ」にする。
テレビに画像、音声が出ない。	● ムービー再生中にA/Vケーブルを接続した。 ● カメラとテレビの接続が間違っている。 ● テレビの入力が「テレビ」になっている。 ● テレビの音量が小さくなっている。	● 正しく接続する。 ● 正しく接続する。 ● テレビの入力を「ビデオ」にする。 ● 音量を調節する。

症　　状	原　　因	処　　置
PC（パソコン）接続ができない。	●カメラとクレードルが正しく接続されていない。 ●クレードルとUSBケーブルが正しく接続されていない。 ●カメラの電源が入っていない。	●正しく接続する。 ●正しく接続する。 ●カメラの電源を入れる。
充電しようとしたが、クレードルのCHARGEランプが点灯しない。	●バッテリーが入っていない。 ●カメラとクレードルが正しくセットされていない。 ●クレードルとACパワーアダプターが正しく接続されていない。	●バッテリーを入れる。 ●正しくセットする。 ●正しく接続する。
充電時にクレードルのCHARGEランプが点滅して充電できない。	●端子が汚れている。 ●バッテリーの故障、もしくは寿命。	●バッテリーをいったん取り出して入れ直す。 ●バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布でふく。 ●新しいバッテリーと交換する。それでも充電できないときは、弊社サービスステーションにお問い合わせください。
カメラが正常に動作しなくなった。	●カメラが予期しない状態になっている。	●バッテリーをいったん取り出して、再び取り付け直してから操作する。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションにお問い合わせください。

主な仕様

システム

●**型式：**デジタルカメラ
●**記録メディア：**スマートメディア(3.3V仕様)
●**記録方式：**
静止画：DCF準拠(Exif Ver.2.1 JPEG準拠)/ DPOF対応
動　画：DCF準拠(AVI形式 Motion JPEG)
音　声：Exif Ver.2.1音声ファイル規定準拠
●**記録画素数(ピクセル)：**
2400×1800/1600×1200/1280×960/640×480
ハニカム信号処理により最大約432万画素

●**撮像素子：**1/1.7型スーパーCCDハニカム
原色フィルター採用(総画素数：ハニカム配列の約240万画素, 有効画素数：ハニカム配列の約216万画素)
●**撮像感度：**ISO125相当
●**レンズ：**スーパーEBC フジノンレンズ
●**焦点距離：**f=8.3mm(35mmカメラ換算：36mm相当)
●**ファインダー：**実像式光学ファインダー
●**露出制御：**TTL64分割測光、プログラムAE
(マニュアル撮影モード時：露出補正可能)

■スマートメディア標準撮影枚数/記録時間

撮影枚数は被写体により多少の増減があります。かつ、撮影枚数はスマートメディアの容量が大きくなるほど、標準枚数との差が大きくなる場合があります。

ピクセル(記録画素数)	4M 2400×1800(432万)			2M 1600×1200(192万)		1M 1280×960(約123万)		VGA 640×480(約31万)	ムービー	ボイスレコーダー
クオリティー	FINE	NORMAL	BASIC	FINE	NORMAL	FINE	NORMAL	NORMAL	—	—
画像1枚のファイルサイズ	約1700KB	約810KB	約330KB	約770KB	約390KB	約620KB	約320KB	約125KB	—	—
MG-4S(4MB)	2	4	11	4	9	6	12	30	約23秒	約16分
MG-8S(8MB)	4	9	23	10	19	12	25	61	約47秒	約33分
MG-16S(16MB)	8	19	46	20	39	25	49	122	約94秒	約66分
MG-32S(32MB)	18	38	94	41	79	50	99	247	約191秒	約133分
MG-64S(64MB)	36	77	189	82	159	101	198	497	約385秒	約268分
MG-128S(128MB)	74	156	379	166	319	204	398	997	約774秒	約537分

＊スマートメディアをフォーマットした状態の撮影可能枚数または記録時間です。

- **ホワイトバランス：**
  オート（マニュアル撮影モード時：7ポジション選択可能）
- **撮影可能範囲：**
  標　準：約50cm〜無限遠
  マクロ：約6cm〜約65cm
- **電子シャッター：**
  可変速　1/4秒〜1/1000秒（メカニカルシャッター併用）
- **絞り：**F2.8/F9.8自動切り換え
- **フォーカス：**TTLコントラスト方式　オート
- **セルフタイマー：**タイマー時間　約10秒
- **消去方式：**1コマ消去・全コマ消去・オーディオ1曲消去・全曲消去・フォーマット（初期化）
- **液晶モニター：**1.5型　11万画素低温ポリシリコンTFT
- **ストロボ：**調光センサーによるオートストロボ
  撮影可能距離：約0.4m〜約3.5m
  発光モード：オート/赤目軽減/強制発光/発光禁止/スローシンクロ

オーディオ

- **記録メディア：**ID付きスマートメディア（3.3V仕様）
- **再生方法：**MP3
- **暗号化方式：**InfoBind
- **連続再生時間：**約4時間
  （専用バッテリーNP-60フル充電時）
- **低音強調：**2段階
- **再生モード：**ノーマル・全曲リピート・1曲リピート
- **出力：**5mW×2

■ID付きスマートメディア標準記録時間

	ビットレート		
スマートメディア	128kbps	112kbps	96kbps
MG-16S（16MB）	約15分	約18分	約20分
MG-32S（32MB）	約30分	約35分	約40分
MG-64S（64MB）	約60分	約70分	約80分
MG-128S（128MB）	約120分	約140分	約160分

＊スマートメディアをフォーマットした状態の記録時間です。

入・出力端子

〈本体〉
- **クレードル接続端子：**付属のクレードルと接続（USB、DC入力、A/V OUT接続用）
- **REMOTE（リモコン接続）端子：**専用リモコンジャック

〈リモコン〉
- **ヘッドホン端子：**ステレオミニジャック（φ3.5mm）

〈クレードル〉
- **(USB) 端子：**専用USBケーブル接続
- **DC IN 5V端子：**専用ACパワーアダプター AC-5V接続
- **A/V OUT端子：**ステレオミニミニジャック（φ2.5mm）
- **接続端子：**カメラと接続（USB、DC入力、A/V OUT接続用）

主な仕様

■出力音声について

	AV OUT	ヘッドホン	スピーカー
MP3	×	○ ＊1	×
動画（音声）	○	×	○ ＊2
ボイスメモ	○	×	○ ＊2
ボイスレコーダー	○	○ ＊2	○ ＊3
ビープ音	×	×	○ ＊1

＊1　他の接続に影響されず必ず出力されます。
＊2　AV OUT接続時は音声が出力されません。
＊3　AV OUTまたはヘッドホン接続時は音声が出力されません。

電源、その他

●**電源：**
充電式バッテリーNP-60（付属）または専用ACパワーアダプターAC-5V（付属）使用

●**使用条件：**
温度0℃〜＋40℃　湿度80％以下（結露しないこと）

●**バッテリー作動可能枚数/時間（フル充電時）**

	撮影枚数	オートプレイ	ボイス録音	ボイス再生
液晶モニターON	約100枚	約80分	約80分	約80分
液晶モニターOFF	約230枚	—	約120分	—

撮影枚数は常温でストロボ使用率50％の場合の、連続して撮影できる目安です。ただし、カメラの使用環境温度やバッテリー充電量のバラツキによる変動があります。低温時では作動可能枚数/時間が少なくなります。

●**本体外形寸法：**
85.5mm×71mm×23.5mm（幅/高さ/奥行き）
＊付属品、突起部含まず

●**本体質量：**約160g
（付属品、バッテリー、スマートメディア含まず）

●**撮影時質量：**約190g（バッテリー、スマートメディア含む）

●**クレードル外形寸法：**
113mm×34.5mm×66mm（幅/高さ/奥行き）

●**クレードル質量：**約80g

●**付属品：**5ページをご覧ください。

●**別売アクセサリー：**104〜105ページをご覧ください。

＊仕様・性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
＊液晶モニターは非常に高精密度の技術で作られておりますが、0.01％以下の画素で点灯しないものや、常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。

用語の解説

AF/AEロック：このカメラでは、シャッターボタンを半押しするとピントと露出を固定（AF/AEロック）します。画面の端の被写体にピントを合わせたり、露出を決めてから構図を変えたい場合には、AF/AEロックをしてから構図を変えて撮影すると、きれいに撮影できます。

EV：露出を表す数値で、被写体の明るさとフィルムやCCDなどの感度によって決まります。被写体が明るければ数値は大きくなり、暗ければ数値は小さくなります。デジタルカメラは被写体の明るさの変化に対して、絞りやシャッター速度を調整することによりCCDに与える光量を一定にしています。
CCDに与えられる光量が2倍になるとEV値は＋1、半分になるとEV値は－1変化します。

Exif（イグジフ）ファイル形式：Exif（イグジフ）は、JEITA（電子技術産業協会）にて承認されたデジタルスチルカメラ用のフルカラー静止画像フォーマットです。TIFFやJPEGとの互換性があり、一般的な画像処理ソフトウェアで取り扱うことができます。サムネイル画像やカメラ情報の記録方法も規定されています。さらにフォルダー構造、フォルダー名についての規定を含めて、DCFがJEITA規格になっています。

JPEG（ジェイペグ）：Joint Photographic Experts Groupの略で、もとは画像圧縮の標準化を推進している組織の名称。そこで標準化したカラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率が選択できますが、圧縮率が高くなるほど伸長（画像の復元）したときの画質は劣化します。

Motion JPEG（モーション ジェイペグ）：画像と音声の両方をひとつのファイルで扱うためのファイルフォーマット AVI（Audio Video Interleave）形式の1種類であり、ファイル内の画像はJPEG形式で記録されています。
パソコンでは下記のソフトで再生できます。
Windows：MediaPlayer　＊DirectX8.0以降必要
Macintosh：QuickTime Player　＊QuickTime3.0以降

MP3：MPEG1 Audio Layer-3の略で、MPEGという動画・音声圧縮規格の中の音声圧縮の一方式です。音声のうちの人間の聞き取りにくい情報をカットすることでデータサイズを約1/10に圧縮します。

用語の解説

VGA　：PCのグラフィック標準の1つであり、画像サイズが640×480を表します。

WAVE（ウェイブ）　：音声を保存するためのWindowsにおける標準フォーマットで、拡張子は“.WAV”です。
記録形式には非圧縮記録と圧縮記録があります。
　非圧縮記録（PCM形式）：ムービー（動画）、ボイスメモで採用
　圧縮記録（IMA-ADPCM形式）：ボイスレコーダーで採用
パソコンでは下記のソフトで再生できます。
　Windows：MediaPlayer
　Macintosh：QuickTime Player　＊QuickTime3.0以降

オートパワーオフ機能：バッテリーの消耗や、ACパワーアダプター接続時のムダな電力消費を防ぐため、しばらく何も操作しないと自動的に電源をOFFします。本機では2分/5分の設定ができます。
- セットアップでオートパワーオフを無効にした場合、またはオートプレイ時やUSB接続時は、オートパワーオフしません。

ホワイトバランス　：人間の目にはどんな照明のもとでも、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラなどでは、被写体周辺の照明光の色に合わせて調整を行って初めて、白い被写体が白く撮影されます。この調整をホワイトバランスを合わせるといいます。ホワイトバランスを自動的に合わせる機能を**オートホワイトバランス**といいます。

アフターサービスについて

保証書

●保証書はお買上げ店で所定事項の記入、および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
●保証期間は、お買上げ日より1年間です。

アフターサービス

■調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

■それでも調子が悪いときはサービスステーションへ
お買上げ店、または弊社サービスステーションにご相談ください。

■保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■修理部品の保有期間
本機の補修用部品は、製造打ち切り後8年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

■修理ご依頼に際してのご注意
●保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または弊社サービスステーションにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。
●お買上げ店や弊社サービスステーションで、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。
●修理箇所のご指定のないとき、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
●修理料金が高く見込まれる修理のときは、「○○○○円以上は連絡してほしい」と料金をご指定ください。ご指定のないときは、修理をすすめさせていただきます。
●修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
修理のために製品を郵送される場合は、ご購入時の外箱に入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
●修理期間は故障内容により多少違いますが、厳重な調整検査を行いますので普通修理品の場合は弊社サービスステーションで、お預かりしてから通常7～14日位をご予定ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。
■型名　　　：ファインピックス50i
■故障の状況：できるだけ詳しく
■ご購入年月日